市原市　対話データ集

わたしの幸せ
みんなの幸せ

市原市ってこんな特徴
があったんだ！

市原市ってこんなことを
やっていたんだ！



２０２４年８月

《 目 次 》

Ⅰ　市原市の概況 1
　1　地勢 2
　2　特性 3
　　（1）全国トップクラスの製造品出荷額 3
　　（2）世界に一番近い「SATOYAMA」 3
　　（3）上総国の国府の地 4
　　（4）地球の歴史に日本の地名を刻む「チバニアン」 5
　　（5）日本一のコース数を有するゴルフのまち 5
　　（6）アートのまち 6
　　（7）SDGs 未来都市 7

Ⅱ　主要統計指標等からみた現状 9
　1　人口・財政 10
　　（1）人口の推移 10
　　（2）自然動態 13
　　（3）社会動態 16
　　（4）外国人数の推移 18
　　（5）将来人口推計 19
　　（6）財政状況 22
　2　産業・経済 26
　　（1）産業別の特性 26
　　（2）製造業 27
　　（3）商業 27
　　（4）農業 28
　　（5）観光 29
　　（6）就労・所得 31
　3　生活・環境 34
　　（1）医療・福祉 34
　　（2）安全・安心 36
　　（3）子ども・教育 38
　　（4）環境 41

Ⅲ　市原市の取組 42
　分野１　経済・農業・観光など 44
　分野２　コミュニティ・健康・福祉など 46

分野３　まちづくり、公共交通、安心・安全など 48
分野４　子育て、教育、文化・スポーツ、多様性など 50
分野５　温暖化対策、ごみ減量・再資源化、自然環境など 52

Ⅳ　用語解説 54

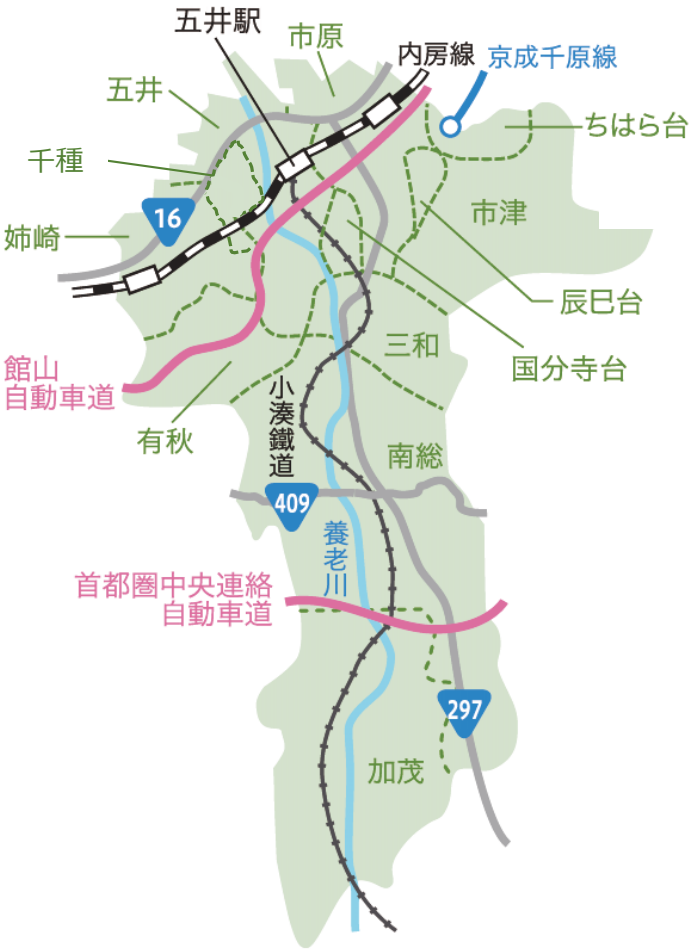
Ⅰ　市原市の概況

1　地勢

市原市は、千葉県、房総半島のほぼ中央に位置しており、50㎞ 圏内に東京駅をはじめ、成田空港、羽田空港があり、いずれも 1 時間程度でアクセスできる立地にあります。

千葉県内最大の 368.16 ㎢の市域を有する広域都市であり、市の北部と南部で違う顔を持ちます。北部の東京湾沿いには、国内最大級の石油化学コンビナート群が立地し、その内陸には、経済成長とともに開発された大規模な新興住宅地が点在します。

一方で、中部から南部には豊かな自然や田園等の原風景、肥沃な農地、里山、日本一のコース数を誇るゴルフ場、また、約 77 万年前の地層の国際基準として認められた「地磁気逆転地層（チバニアンの地層）」など、多様性に富んだ地域資源を有しています。





面積の比較(2022年)

順位※	面積(㎢)	
1	**市原市**	**368.16**
2	君津市	318.78
3	千葉市	271.76
4	香取市	262.35
5	南房総市	229.55

※54市町村中
資料：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」

２　特性

（１）全国トップクラスの製造品出荷額

本市は、京葉臨海部工業地帯の中核として機能しており、臨海部を中心に 279 事業所が立地し、従業者数は約 2 万人、製造品出荷額は約 4 兆となっており、令和 3 年経済センサス-活動調査では全国第 2 位、2022 年経済構造実態調査では全国第 3 位となっています。

現在、臨海部には、4 つの石油化学コンビナートが立地しており、エチレン生産能力は全国シェアの 34%、原油処理能力は全国シェアの 16.3%を占め、石油化学工業、石油精製業において、国内最大級の生産能力が集積しています。



臨海部の石油化学コンビナート

（２）世界に一番近い「SATOYAMA」

成田・羽田の両空港から 30 ㎞圏内にありながら、豊かな自然が世界に一番近い「SATOYAMA（里山）」として受け継がれてきました。

地域住民自らによる保全等の地域活動に加え、本市を縦断するローカル線「小湊鐵道」などの地域資源を活用した観光地づくりを住民・企業・行政が一体となって進めています。



豊かな自然風景



石神の菜の花畑

（３）上総国の国府の地

かつて市原市一帯が「上総国」と呼ばれていたころ、市原市には政治・経済・文化の中心地である国府が置かれていました。

今から約 1300 年前の奈良時代、聖武天皇が国の平和と繁栄を祈るために、各国に国分寺（国分僧寺・国分尼寺）の建立を命じました。上総国分寺は全国でも規模が大きく、国分尼寺は最大です。

現在は、国分尼寺の一部が復元され、一角にある展示館では、当時の姿を模したジオラマや映像、発掘資料の展示など、悠久の歴史を感じることができます。



上総国分寺のジオラマ



復元された上総国分尼寺の中門と回廊

他にも、市原市は歴史遺産が市内全域に存在し、千葉県内最多の、国指定 6 件、県指定 27 件、市指定 64 件、国登録 23 件の合計 120 件（2024 年 6 月現在）の指定文化財が登録されています。

市原市では市全体を歴史のミュージアムと捉え、市民と一緒に貴重な歴史遺産を未来へつないでいくため、歴史博物館（I'Museum Center）を建設し、旧石器時代から近現代までの優れた価値のある文化財を保存・展示しています。



I'Museum Center 外観



I'Museum Center 内観

また、平安時代の女流文学作品として名高い「更級日記」の作者である菅原孝標女が、帰京のため市原市にあった上総国府を出発した年から千年の節目の年の 2020 年に「更級日記千年紀文学賞」を創設しました。

（４）地球の歴史に日本の地名を刻む「チバニアン」

約 77 万年前の地磁気逆転現象の痕跡が地球上で最も良好に保存されている地層として、2020 年 1 月 17 日に、田淵の地層が国際学会から、GSSP（Global boundary Stratotype Section and Point：国際境界模式層断面とポイント）に認定されました。これにより、約 77 万 4 千年前から約 12 万 9 千年前の地質年代が「チバニアン（千葉時代）」と呼ばれることになりました。地質年代に日本の地名が採用されたのは、日本初の快挙です。

現在は、2027 年のオープンに向け、ガイダンス施設等の見学環境整備を進めています。



GSSP の証として設置された「ゴールデンスパイク」



ガイダンス施設イメージ

（５）日本一のコース数を有するゴルフのまち

市内のゴルフ場は 32 か所 33 コースと一つの市町村としては国内最多の数を有しています。日本プロゴルフ協会、PGA 千葉ゴルフ会などと連携した「市原市ジュニアゴルフスクール」や「市原市ジュニアゴルフオープン」の開催、小学生向けのゴルフ・スナッグゴルフの体験授業などを通じて、ゴルフの聖地を目指して取り組んでいます。



（6）アートのまち

アートを日常的に感じられるまちづくりにより、「魅力」（訪れたい）、「共感」（関わりたい）、「愛着」（暮らしてみたい・住み続けたい）を創出し、交流人口や関係人口を増加させることで持続可能なまちを目指しています。

「晴れたら市原、行こう。」をテーマに 2014 年に第 1 回となる「中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス」を開催。市原市の歴史・文化・自然・人の暮らし・食・スポーツなど、地域の持つ様々な資源を現代アートと融合し、里山に活力を漲らせ、より魅力的な「いちはら」を再発見する大規模芸術祭として、3 年に 1 度開催しています。

2023 年秋から 2024 年 5 月には、市制施行 60 周年及び千葉県誕生 150 周年の節目となる年の事業として、千葉県及び内房総の 5 市（市原市・木更津市・君津市・袖ケ浦市・富津市）を舞台に百年後の未来をつくる芸術祭「百年後芸術祭～環境と欲望～内房総アートフェス」を開催しました。



豊福亮
《里見プラントミュージアム》



ＥＡＴ＆ＡＲＴ　ＴＡＲＯ
《おにぎりのための運動会！》



木村崇人
《森ラジオ　ステーション×森遊会》



レオニート・チシコフ
《7 つ月を探す旅「第二の駅　村上氏の最後の飛行　あるいは月行きの列車を待ちながら」》

（７）SDGs 未来都市

2021 年 5 月 21 日、市原市が千葉県内の自治体として初めて内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されるとともに、「SDGs 未来都市」の中で特に先導的な取組である「自治体 SDGs モデル事業」にもダブルで選定されました。

現在、「市原市第２期 SDGs 未来都市計画（2024～2026 年度）」に基づき、市原発サーキュラーエコノミーの挑戦、いちはら推し活制度（イチ推し）などの取組を進めています。

SDGs 未来都市とは？

SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。平成 30 年度より選定が開始されました。

自治体 SDGs モデル事業とは？

SDGs 未来都市の中で実施予定の先導的な取組として選定されるものです。地方公共団体による SDGs の基本的・総合的取組の中でも特に注力的に実施する事業であり、SDGs の理念に沿った統合的取組により、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環が見込める事業です。平成 30 年度より選定開始されました。



市原発サーキュラーエコノミーの挑戦

イチ I-Chi-O-Shi 推し

いちはら推し活制度（イチ推し）

・市が主催、共催するイベントや市民活動団体が実施するイベントに参加することで、ポイントを貯めることができる市原市独自のポイント制度です。

・貯めたポイントは市の魅力商品などに交換することができます。

（詳しくは上記QRコードへ）



市原ぞうの国

もっとある！
市原市のわくわく
スポット





養老渓谷



千葉こどもの国 キッズダム



小湊鐵道里山トロッコ列車

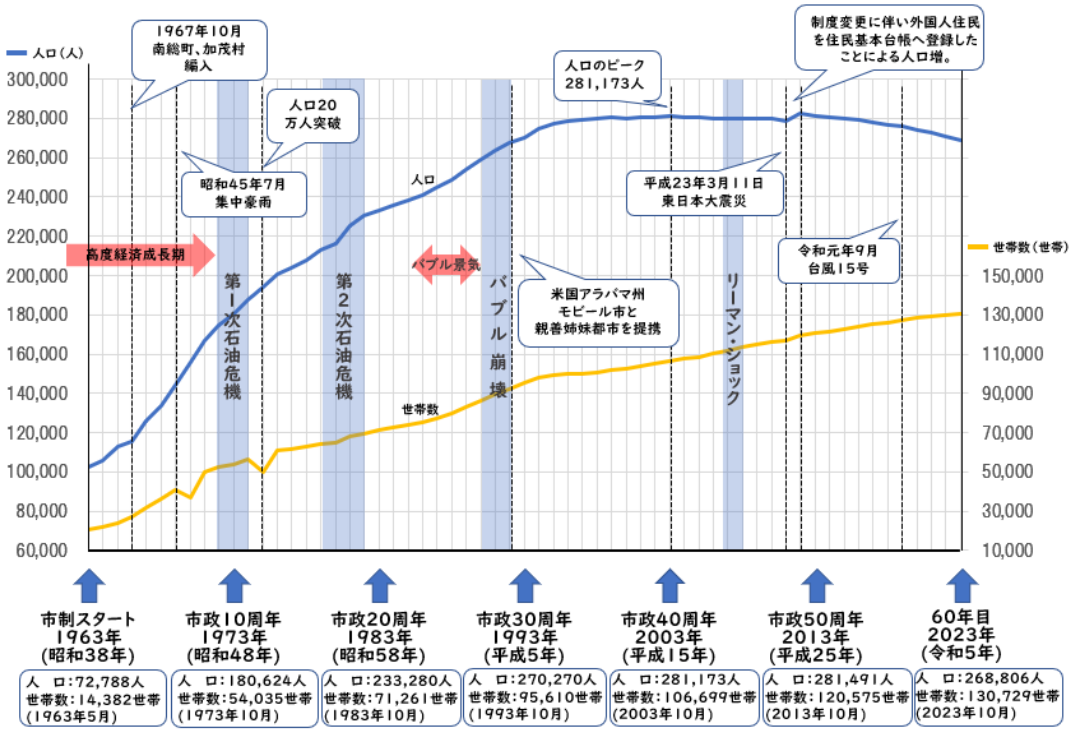
Ⅱ　主要統計指標等からみた現状

1　人口・財政

（1）人口の推移

①総人口の推移

本市の人口は、1960 年代から 70 年代にかけて臨海部企業の進出が相次いだことや、その後の市街地整備等により、急激に増加を続けてきました。しかしながら、少子高齢化の影響等により、2003 年の 281,173 人をピークに、減少傾向にあります。一方、世帯数は現在まで増加傾向にあるものの、世帯人員数は減少を続けています。現在本市は県内で 6 番目に人口の多い自治体です。



資料：市原市「住民基本台帳」を基に作成

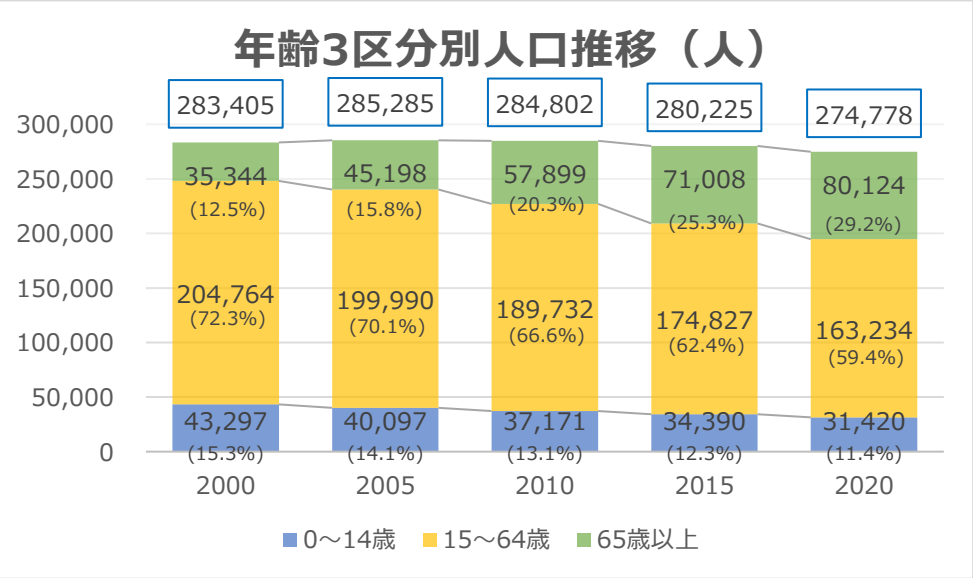
人口と人口増減率の比較（2022年10月1日）

順位※	人口（人）		順位※	人口増減率（%）	
1	千葉市	978,801	1	印西市	2.19
2	船橋市	645,757	2	流山市	2.00
3	松戸市	496,862	3	八千代市	0.72
4	市川市	496,834	4	柏市	0.65
5	柏市	432,450	5	袖ケ浦市	0.57
6	**市原市**	**265,889**	**26**	**市原市**	**-0.75**

※54市町村中　　資料：千葉県「毎月常住人口調査」

②年齢３区分別人口の推移

年少人口（0～14 歳）割合と生産年齢人口（15～64 歳）割合が減少する一方、高齢者人口（65 歳以上）割合が増加し、2020 年には 29.2%となっています。県内自治体と比較すると、年少人口割合は相対的に高いものの、高齢者人口割合も高くなっています。



資料：千葉県「年齢別・町丁字別人口（各年 4 月 1 日時点）」

年少人口比率と高齢者人口比率の比較（2022年4月1日）

順位※	年少人口比率（%）		順位※	高齢者人口比率（%）	
1	印西市	16.7	1	御宿町	51.6
2	流山市	16.2	2	鋸南町	49.1
3	袖ケ浦市	13.7	3	南房総市	46.8
4	四街道市	13.5	4	勝浦市	45.6
5	白井市	13.2	5	長南町	44.9
19	**市原市**	**11.0**	**37**	**市原市**	**30.2**

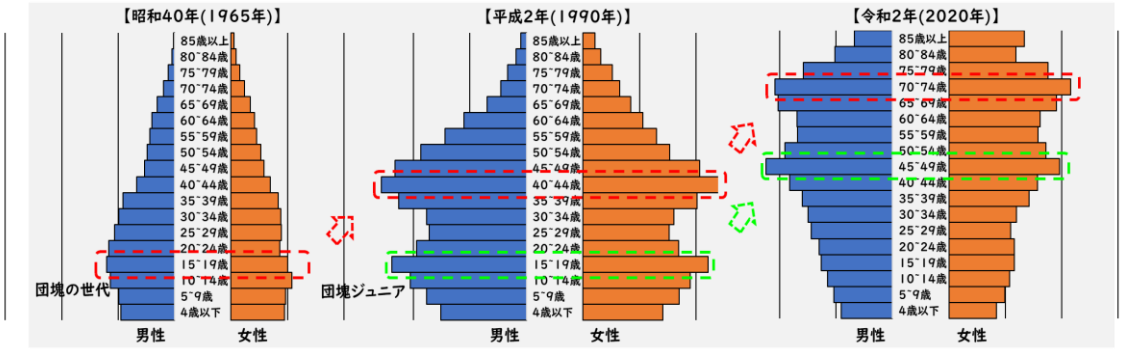
※54市町村中　　資料：千葉県「年齢別・町丁字別人口」

③人口ピラミッドの推移

基本的なピラミッドの形は日本全体のものと同じですが、市原市では、経済発展に伴い一定期間で集中的に人口が急増したため、世代間のギャップがより顕著に現れています。

1965 年以降、臨海部企業の進出により、団塊の世代を中心に全国から人が集まりました。その結果、1990 年には、全体のボリュームが増加するとともに、団塊の世代とその他の世代との差が際立ちました。また、それに伴い、団塊の世代の子どもの世代、いわゆる団塊ジュニアも、前後の世代と比べて突出しています。

2020 年は、団塊の世代と団塊ジュニアの世代がそのまま上にスライドする一方で、晩婚化や出生率の減少などにより、団塊ジュニアの子どもの世代では同様の傾向は見られず、また、バブル崩壊により人口の社会移動が減少に転じたことから、若年層にかけて先細っている状況です。

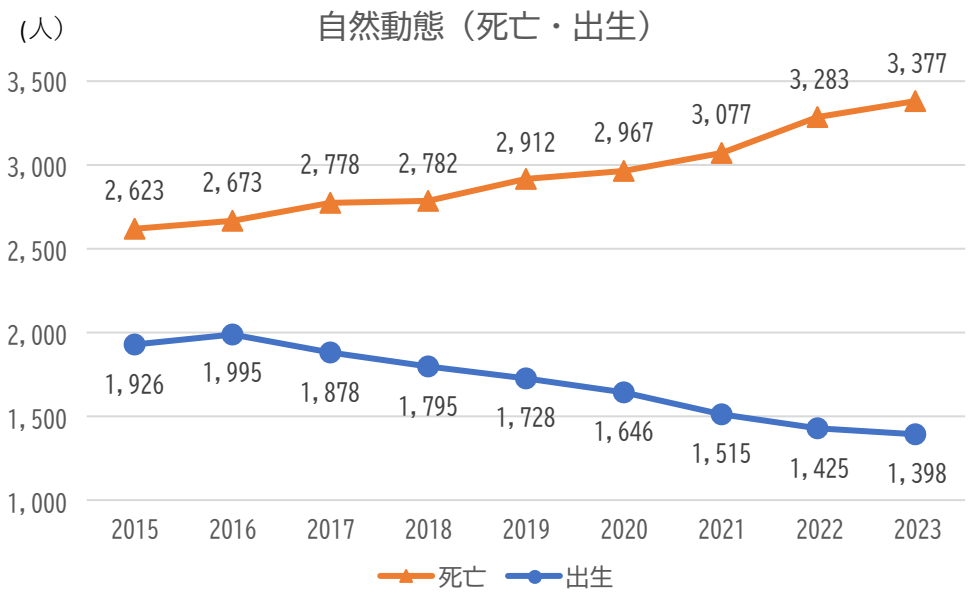


資料：市原市「統計いちはら（2021 年）」

（２）自然動態

①自然動態（出生・死亡者数の推移）

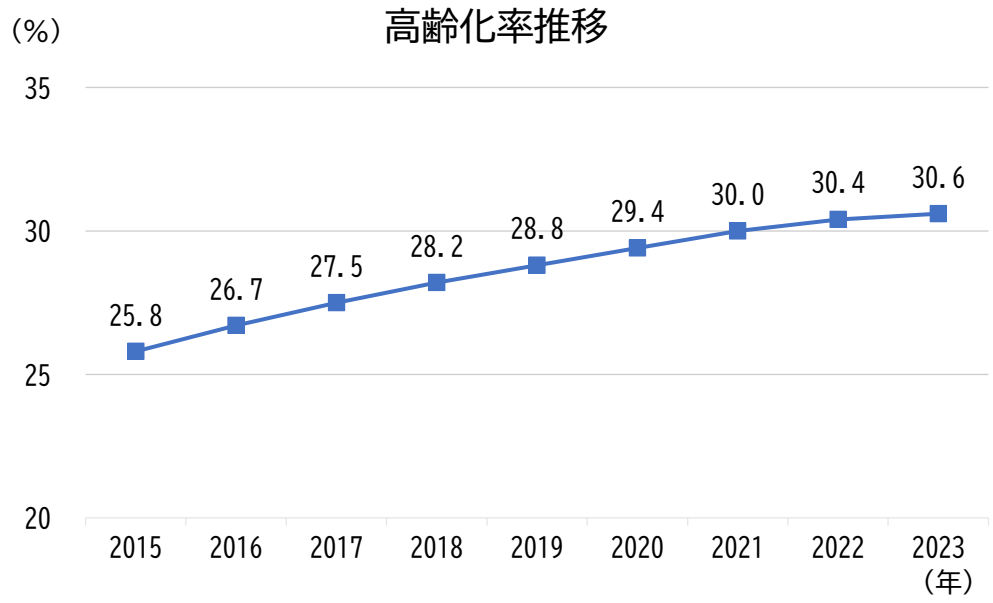
出生と死亡の状況をみると、低出生率等による出生数の減少、高齢者人口の増加等の進行により、年々、人口の自然減（死亡－出生）の幅が拡大しています。



資料：市原市「住民基本台帳」を基に作成

②高齢化率（総人口に占める 65 歳以上人口の割合）

少子高齢化の進行により年々増加しています。県内他市町村と比較すると本市の高齢化率は 18 番目に高い状況にあります。



資料：市原市「住民基本台帳」を基に作成

高齢化率比較（2023）

	低い		高い
1	浦安市 18.4%	1	御宿町 52.0%
2	市川市 21.5%	2	鋸南町 49.6%
3	流山市 22.5%	3	南房総市 47.1%
4	習志野市 23.6%	4	勝浦市 46.0%
5	印西市 23.8%	5	長南町 45.8%
		18	市原市 30.6%

資料：千葉県「千葉県年齢別・町丁字別人口」

③婚姻率（人口千人あたり婚姻組数）・離婚率（人口千人あたり離婚組数）

県内他市町村と婚姻率、離婚率を比較すると、婚姻率については、17 番目に高く、鎌ヶ谷市(3.8)、東金市(3.6)、袖ケ浦市(3.6)などと同等の状況です。

離婚率についても県内では 20 番目と比較的高い状況です。

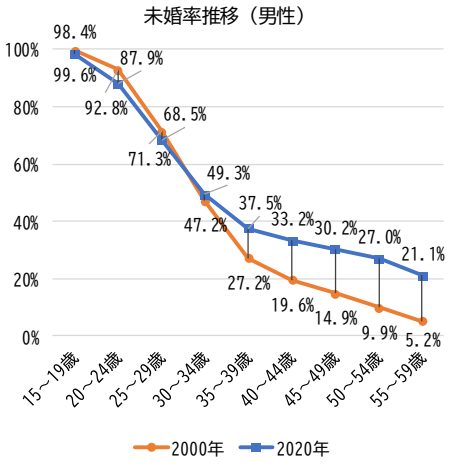
婚姻率・離婚率比較（2022）

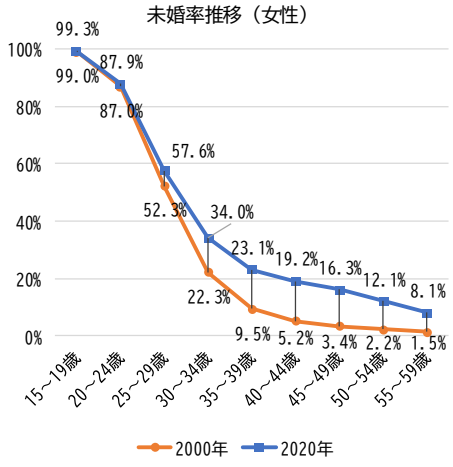
	婚姻率（人口千対）		離婚率（人口千対）
1	市川市　6.2 組	1	芝山町　2.86 組
2	富里市　5.1 組	2	八街市　2.08 組
3	流山市　5.0 組	3	富里町　2.04 組
4	船橋市　4.9 組	4	木更津市　1.71 組
5	浦安市　4.8 組	5	袖ケ浦市　1.70 組
17	市原市　3.7 組	20	市原市　1.41 組

資料：千葉県「人口動態統計」

④男女別の未婚率（年齢別人口に占める未婚者の割合）

2000 年と 2020 年の未婚率を比較すると、男女ともに上昇しています。

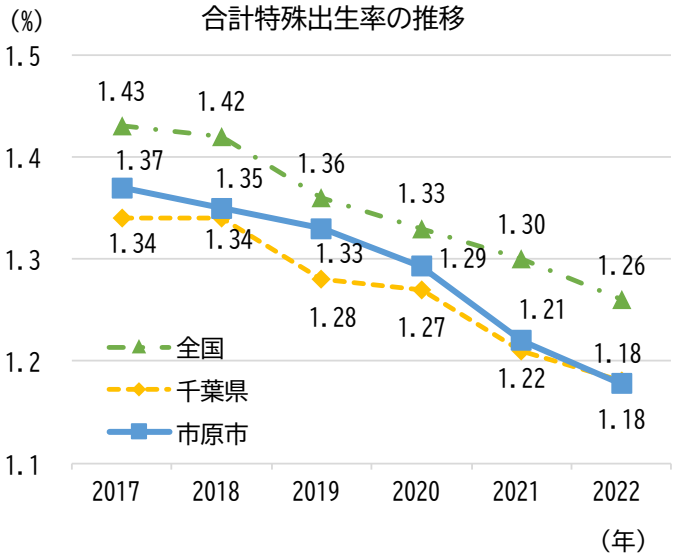




資料：総務省「国勢調査」

⑤<u>合計特殊出生率</u>（15～49 歳の女性の年齢別出生率の合計）の推移

全国や千葉県と同様、本市の合計特殊出生率は下降傾向にあり、2022 年は千葉県平均と同じく 1.18 となっています。県内では 14 番目に高い状況となっています。



資料：千葉県衛生年報

合計特殊出生率の比較（2022年）

順位※	合計特殊出生率	
1	袖ケ浦市	1.56
2	印西市	1.51
3	流山市	1.50
4	木更津市	1.44
5	四街道市	1.34
14	**市原市**	**1.18**

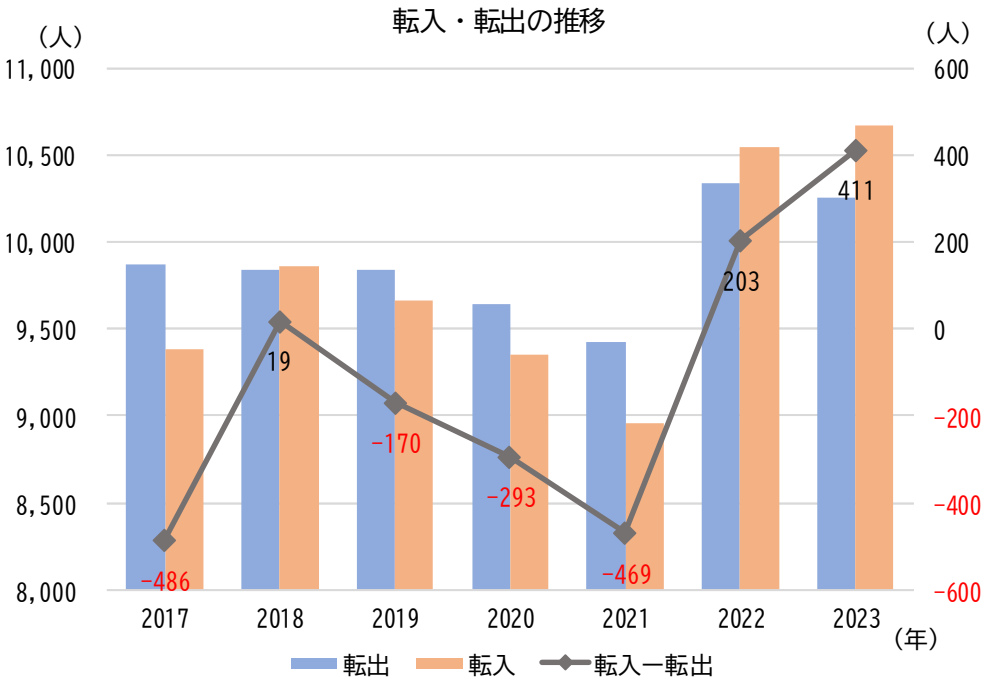
※54市町村中

資料：厚生労働省「人口動態統計」

（３）社会動態

①社会動態（転入・転出者数の推移）

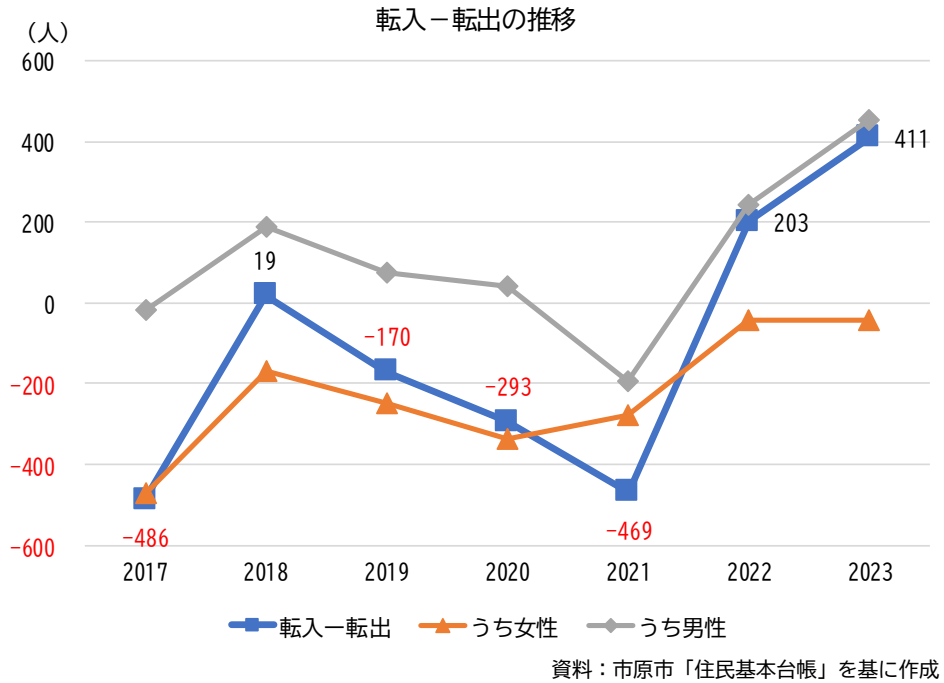
2019 年から転出超過が続いていましたが、直近 2 年は転入超過の状況にあり、これは外国人の転入・転出の影響が大きくなっています。



資料：市原市「住民基本台帳」を基に作成

②男女別の転入・転出者数の推移

男女別に見ると、女性の転出超過が続いており、男性は 2021 年を除いて転入超過となっています。

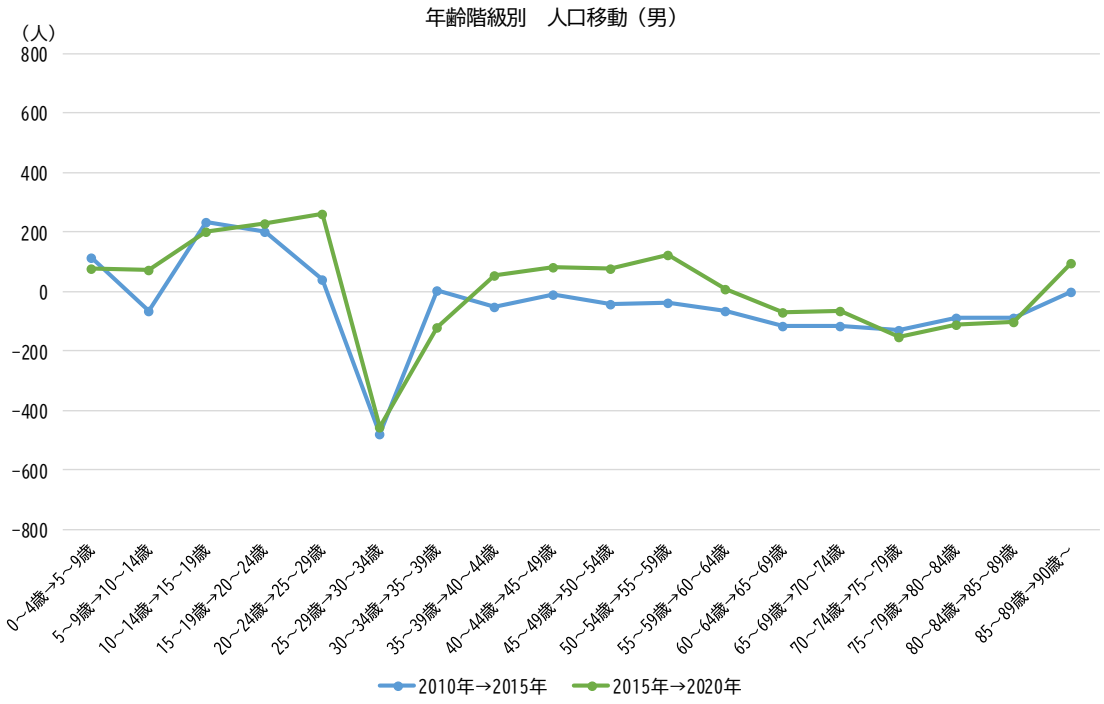


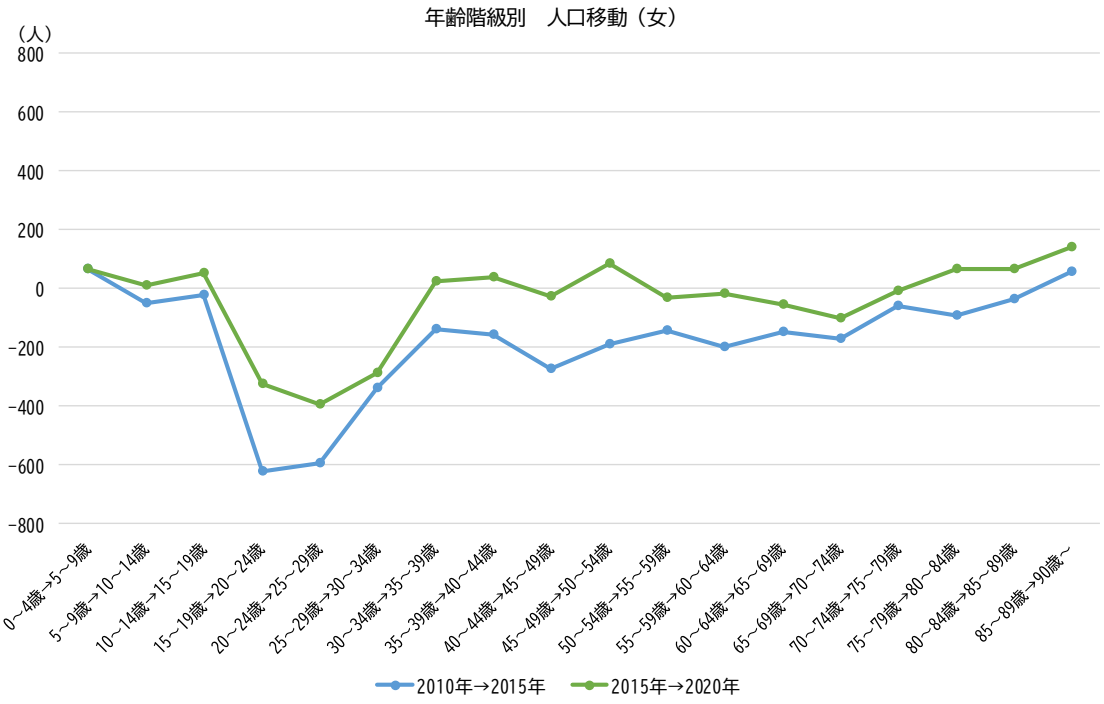
資料：市原市「住民基本台帳」を基に作成

③年齢区分別の転入・転出者数の推移

男性について、過去 10 年は 10 代、20 代での転入超過がみられますが、30 代では転出超過となっています。

女性について、過去 10 年は、10 代後半から 30 代まで転出超過の傾向がみられますが、直近５年では転出超過の傾向が弱まっていることがうかがえます。

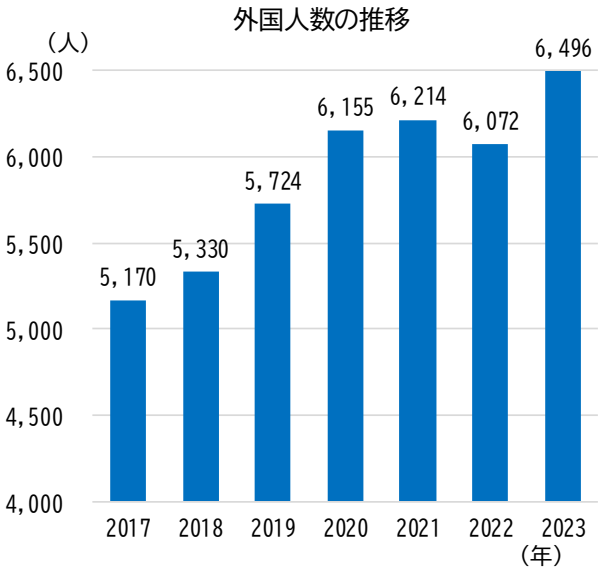




資料：RESAS（国勢調査各年10月1日現在）

（４）外国人数の推移

外国人数は増加しており、2020 年以降は 6 千人台で推移しています。県内では 21 番目となっています。



資料：市原市「統計書（各年3月31日現在）」

外国人数（人口千人当たり）（2021年）

順位※	外国人数（人口千対）	
1	富里市	51.2
2	成田市	43.6
3	銚子市	39.6
4	八街市	37.7
5	芝山町	36.2
21	**市原市**	**22.8**

※54市町村中

資料：千葉県「外国人登録者数」

（５）将来人口推計

出生、死亡、人口移動について実績値の動向をもとに仮定を設け、推計を行ったものです。

推計方法

- **推計期間**

  2025 年～2050 年まで 5 年毎の 25 年間

- **推計方法**

  コーホート要因法

- **基準人口**

  住民基本台帳の 2020 年 10 月 1 日現在の人口（男女別・5 歳階級別）

- **仮定値(生残率、純移動率、子ども女性比、0～4 歳性比)**

  国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）で使用している仮定値及び近年の市原市の人口動向を踏まえて仮定値を設定。

【仮定値の概略】

生残率	t 年の年齢 x～x+4 歳の人口が、5 年後の t+5 年に x+5～x+9 歳として生き残っている率
純移動率	t 年の年齢 x～x+4 歳の人口に関する t→t+5 年の 5 年間の純移動数(転入超過数)を、期首(t 年)の年齢 x～x+4 歳の人口で割った値
子ども女性比	t 年の 0-4 歳の人口(男女計)を、同年の 20-44 歳女性人口で割った値
0-4 歳性比	t 年における 0-4 歳女性人口 100 人あたりの 0-4 歳男性人口

- **推計パターン**

現状値推計　※現在の状況が続いたと仮定した場合の推計値	
現状値	✓ 子ども女性比・0-4 歳性比・生残率を社人研数値 ✓ 純移動率を 2005～2010 年、2010～2015 年、2015～2020 年の 3 期間の実績の平均により設定

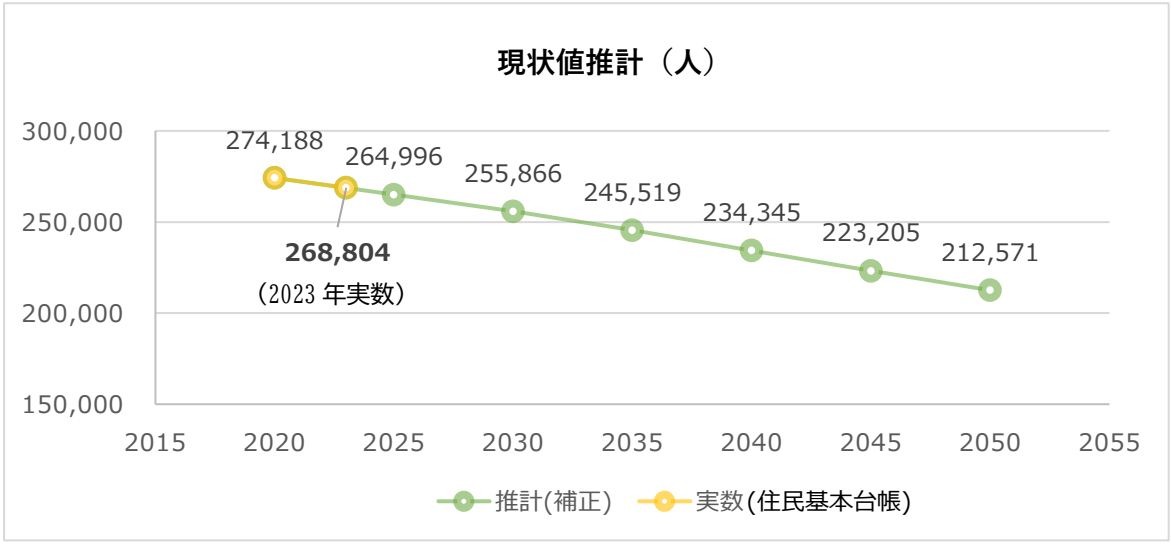
推計結果

現状値推計

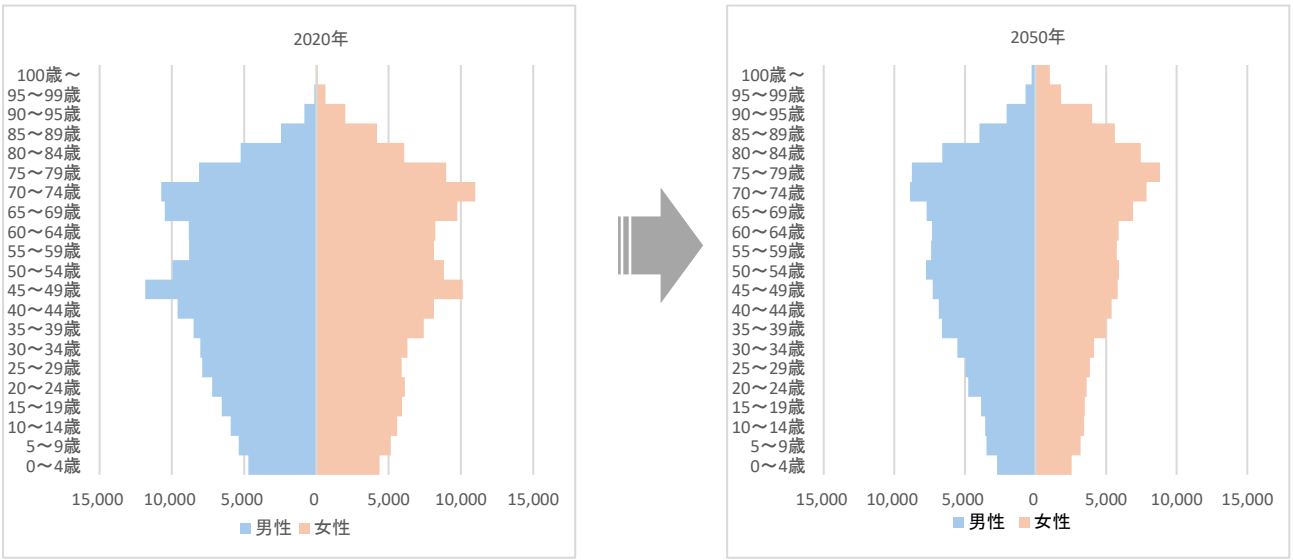
現在の状況が続いたと仮定した場合、2050 年に 212,571 人になると見込まれます。

✓　子ども女性比・0-4 歳性比・生残率・純移動率を社人研数値

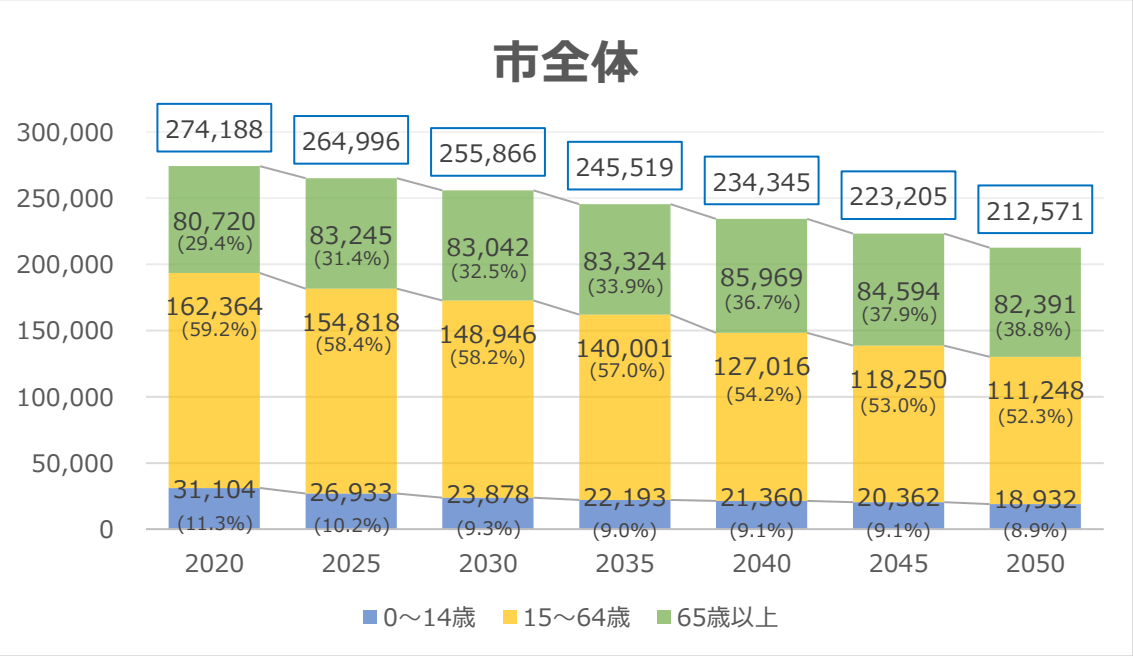
（人）	R2 (2020)	R5 (2023)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)
現状・推計値	274,188	268,804	264,996	255,866	245,519	234,345	223,205	212,571
(参考)2015 推計値	273,711	268,287	264,671	253,733	241,132	227,567	213,703	200,113



男女別の人口ピラミッドでは、全体的な形状は大きく変わらないものの、男性と比較して女性の割合が減少すると見込まれます。



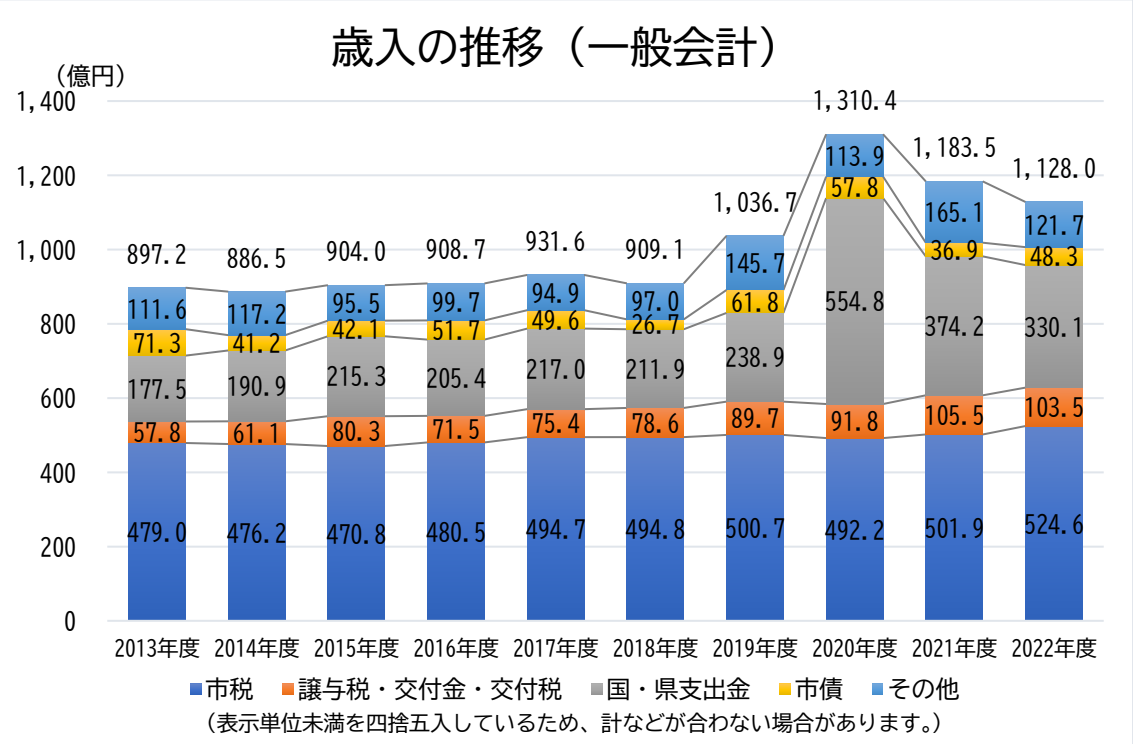
年齢 3 区分別人口では、65 歳以上の数は現在よりも増加する一方、0 歳～64 歳人口の減少が見込まれます。



（６）財政状況

①歳入決算の状況

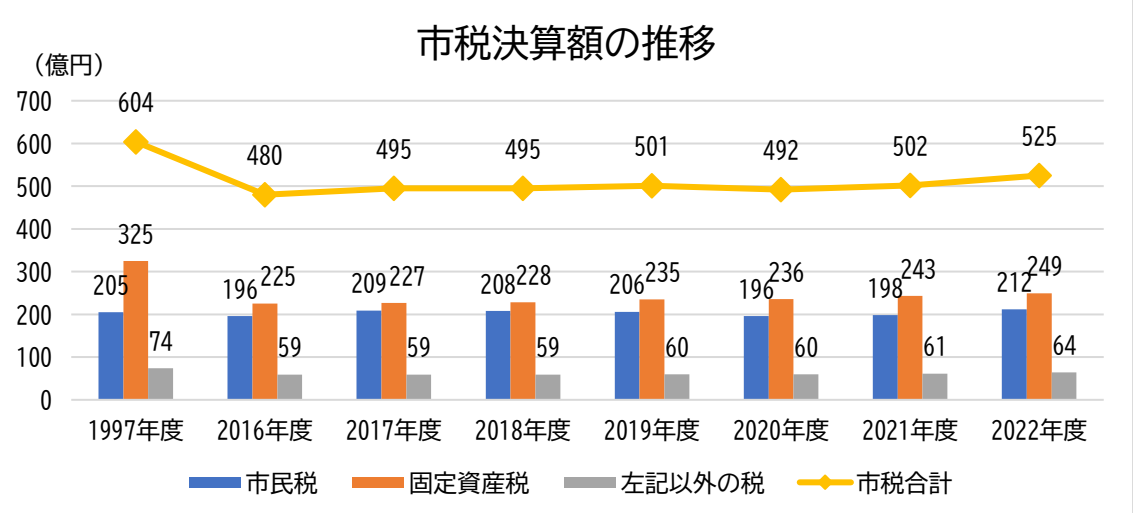
歳入決算は、900 億円前後で推移していましたが、感染症対策や物価高騰対策による国・県支出金の増を主な要因として、2019 年度から 1,000 億円台で推移しています。



資料：市原市「財政白書」

・市税収入の推移

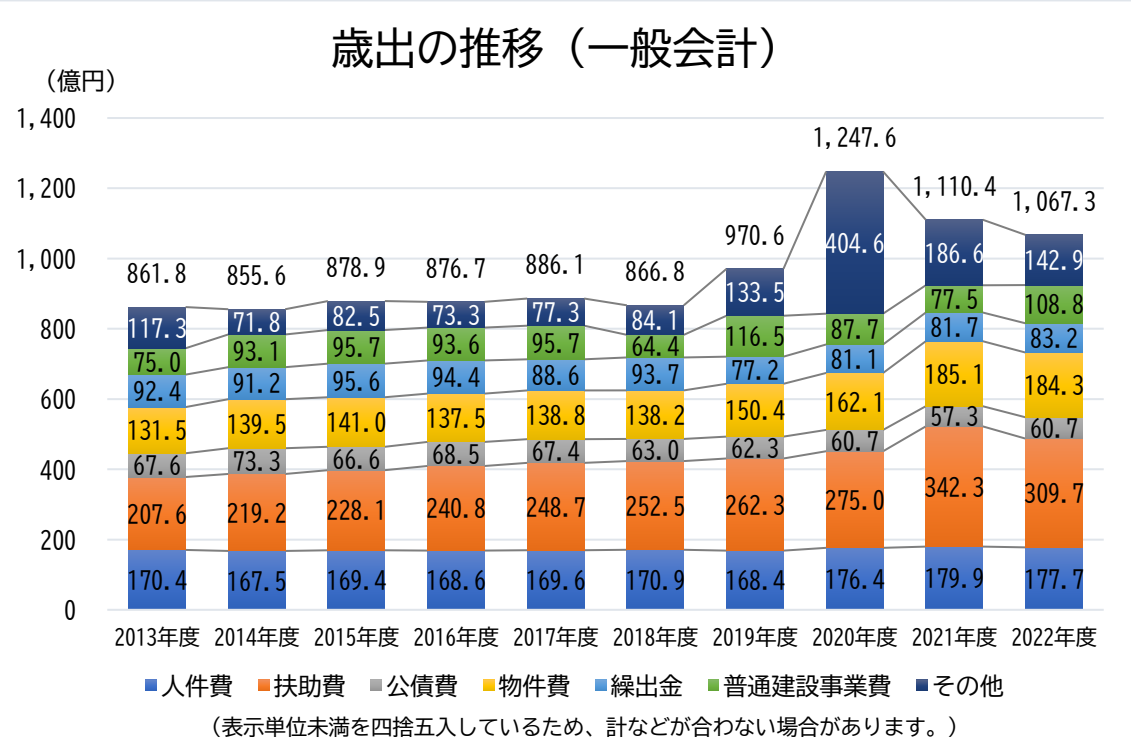
歳入の柱である市税は、1997 年度（平成 9 年度）の 604 億円をピークに、近年は概ね 500 億円前後で推移しています。



資料：市原市「財政白書」

②歳出決算の状況

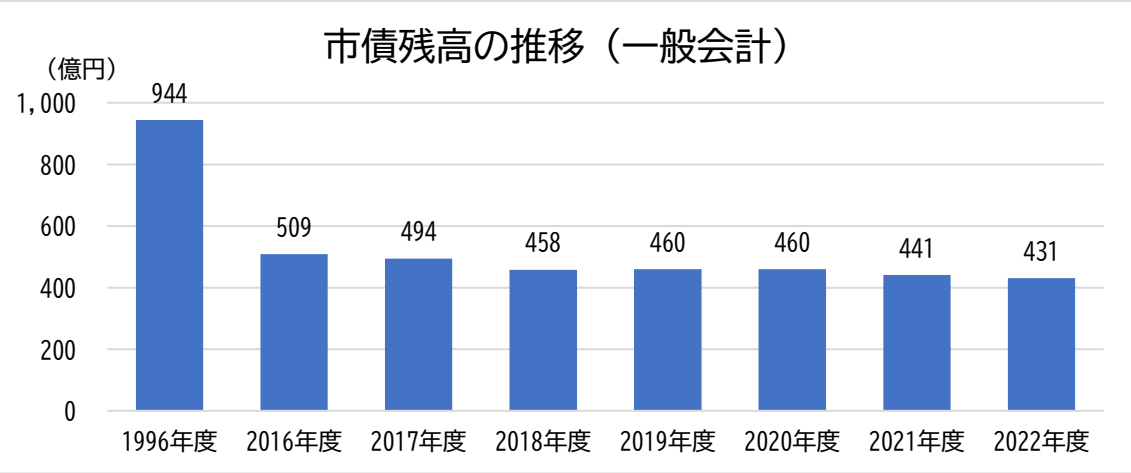
歳出決算は、生活保護法や児童福祉法などに基づく公的扶助制度の一環として支給する費用の扶助費や小・中学校や公園・公民館など施設の維持管理費（物件費、維持補修費）などの増加に伴い、歳出規模は増加傾向となっています。近年は、感染症対策や物価高騰対策を主な要因として 1,000 億円台で推移しています。



資料：市原市「財政白書」

③市債残高の推移

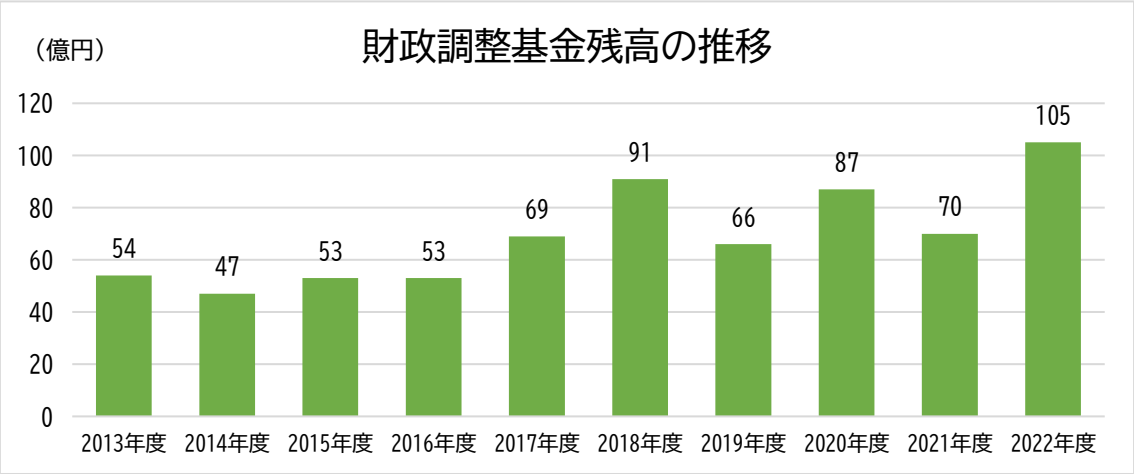
市債は、長期間で返済する市の借金です。市債の発行は、長期間使用する施設の整備費を、次世代の市民にも負担していただき、世代間の負担の公平化を図るほか、投資的財源の一時的な負担を軽減するために行っています。市債残高は、借入額を上回る償還により減少傾向です。市債残高のピーク時（1996 年度・平成 8 年度）と比較すると、一般会計の市債残高は 513 億円の減となっています。



資料：市原市「財政白書」

④基金残高の推移

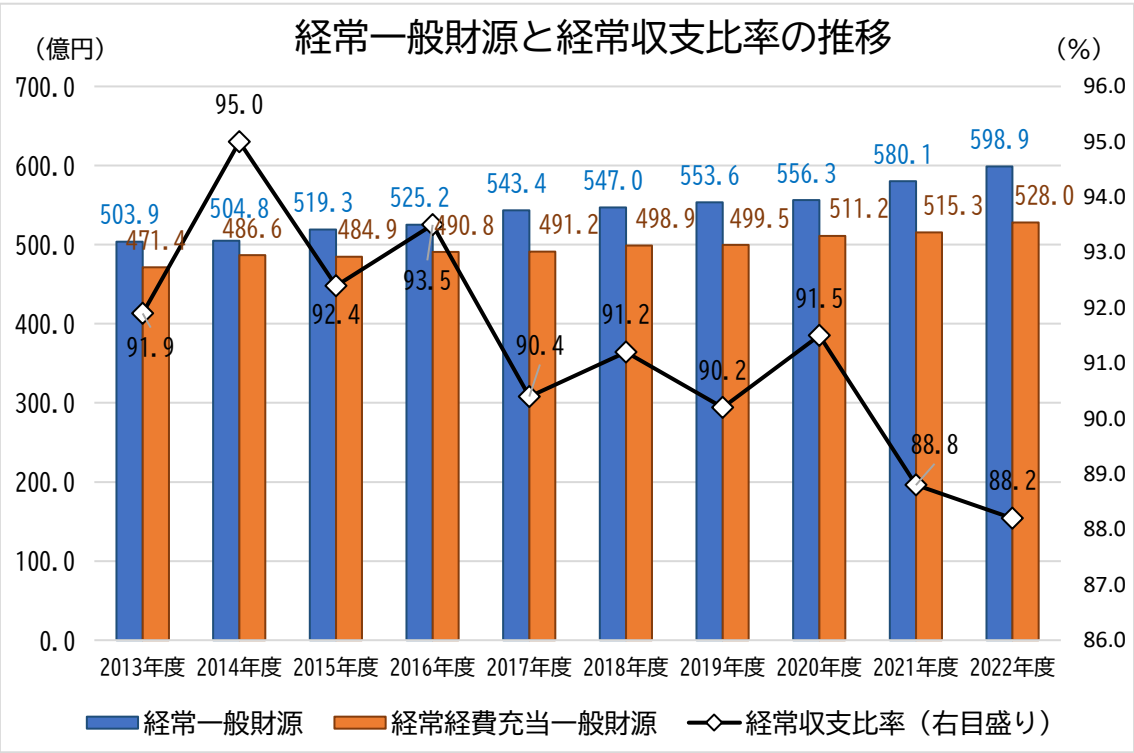
市の一般会計では、目的に応じた 13 の基金を有しています。このうち、経済事情の著しい変動や災害など突発的な事象への対応のほか、年度間の財源の調整機能を持つ財政調整基金は 105 億円となっています。



資料：市原市「財政白書」

⑤財政指標（経常収支比率）

財政構造の弾力性を判断するための指標です。市税などの経常的な収入を、扶助費などの経常的な支出に使っている割合を示したもので、この値が高いと財政状況が硬直化していることになります。2014 年度（平成 26 年度）は 95.0%と高い水準にありましたが、2022 年度（令和 4 年度）は 88.2%まで低下しています。



資料：市原市「財政白書」

⑥近隣市と決算状況の比較（2022 年度決算）

区　分	市原市	千葉市	袖ケ浦市	木更津市
住民基本台帳人口※1	270,085 人	977,016 人	65,659 人	136,303 人
財政力指数※2	1.05	0.905	1.09	0.85
経常収支比率	88.2%	98.1%	89.6%	91.7%
市債現在高	43,051,018 千円	706,395,721 千円	16,943,155 千円	31,325,352 千円
市民一人当たり	159,398 円	723,013 円	258,048 円	229,821 円
財政調整基金現在高	10,451,281 千円	17,036,873 千円	2,743,457 千円	5,453,345 千円
市民一人当たり	38,696 円	17,438 円	41,783 円	40,009 円

※1:住民基本台帳人口は、令和 5 年 1 月 1 日現在人口
※2:財政力指数が 1.0 以上の場合は、普通交付税の不交付団体となります。2022 年度の千葉県における普通交付税の不交付団体は、市原市、市川市、成田市、君津市、浦安市、袖ケ浦市、印西市、芝山町の 8 市町です。

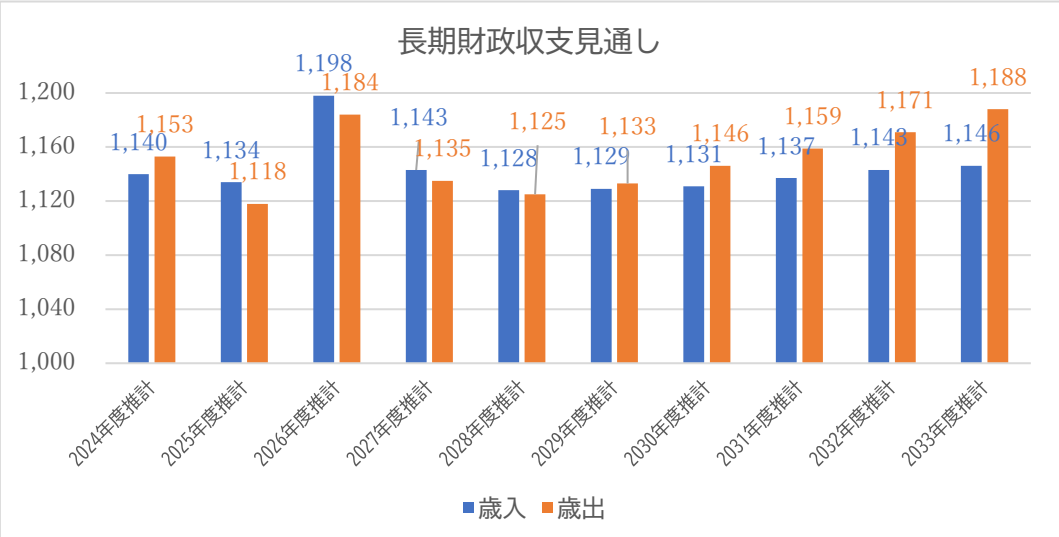
資料：市原市「2022 年度決算資料」

⑦長期財政収支見通し

長期財政収支見通しとは、過去の決算額や人口推計値などの諸条件を設定した上で、それらの内容の分析を行い、今後の歳入歳出額の推移を将来にわたって機械的に試算したものです。ここから見えてきた課題を洗い出し、今後の行政需要に対応していくための方策を検討するためのツールであって、実際の予算編成とは異なります。

（2022 年度決算後ローリング（2023 年 10 月時点））

- ✓ 2025 年度から 2028 年度は、税収の増加が扶助費等の歳出の増加を上回り、歳入超過が見込まれます。
- ✓ それ以降は、税収が横ばいになり、一方で歳出は扶助費等の増加傾向が続くため、2029 年度からは歳出超過に転じ、試算期間の 10 年間で 83 億円の収支不足が見込まれます。
- ✓ 本試算には、事業費や事業執行時期が確定していない、大規模建設事業は計上していないため、見通し以上に歳出が増大する可能性があります。



資料：市原市「長期財政収支見通し（2022 年度決算後ローリング）」

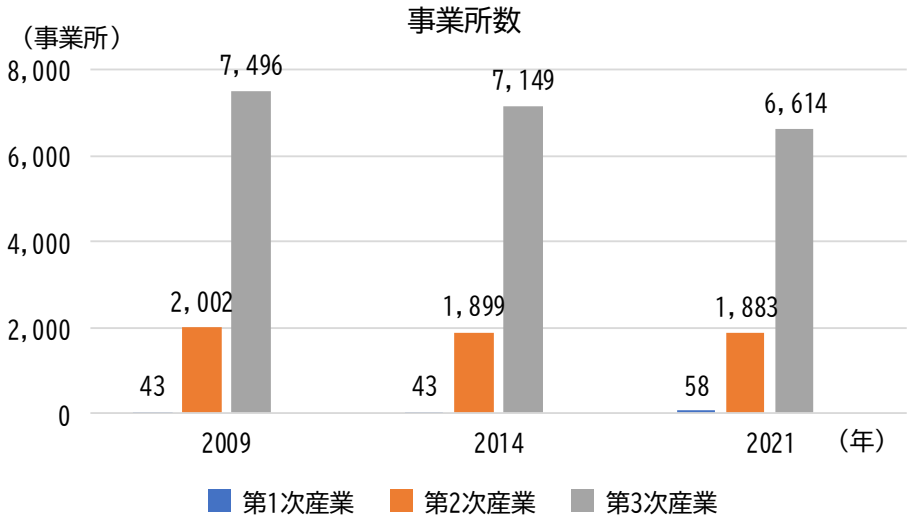
２　産業・経済

（１）産業別の特性

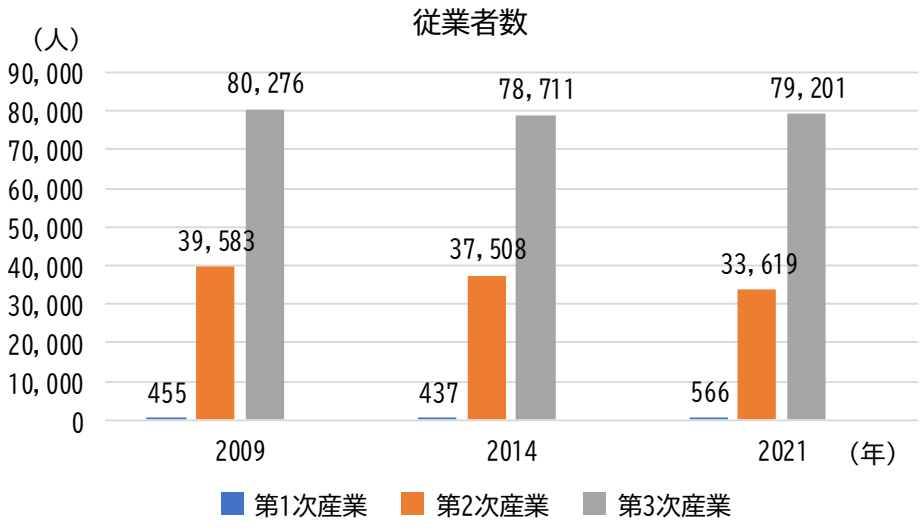
①産業分類別事業所数・従業者数（対象事業所は以下ア～ウを除くすべての事業所。ア　「農業、林業、漁業」に属する個人経営の事業所。　イ　「生活関連サービス業，娯楽業」のうち、「家事サービス業」に属する事業所。　ウ　「サービス業（他に分類されないもの）」のうち、「外国公務」に属する事業所）

産業分類別の事業所数については、第２次・第３次産業では減少している一方、第１次産業では微増しています。

産業分類別の従業者数については、第２次産業は減少し、第３次産業は横ばい、第１次産業は微増の傾向となっています。



資料：経済産業省「経済センサス活動調査」

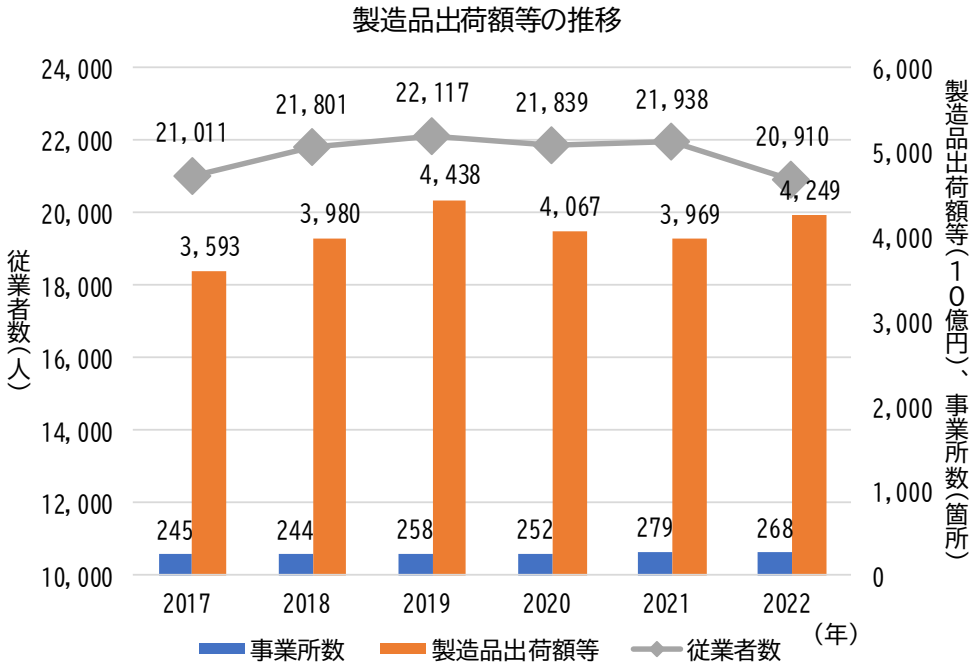


資料：経済産業省「経済センサス活動調査」

（２）製造業

①製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

本市の製造品出荷額は全国トップクラスの規模を誇っていますが、近年は、事業所数と製造品出荷額等が横ばいで推移しています。

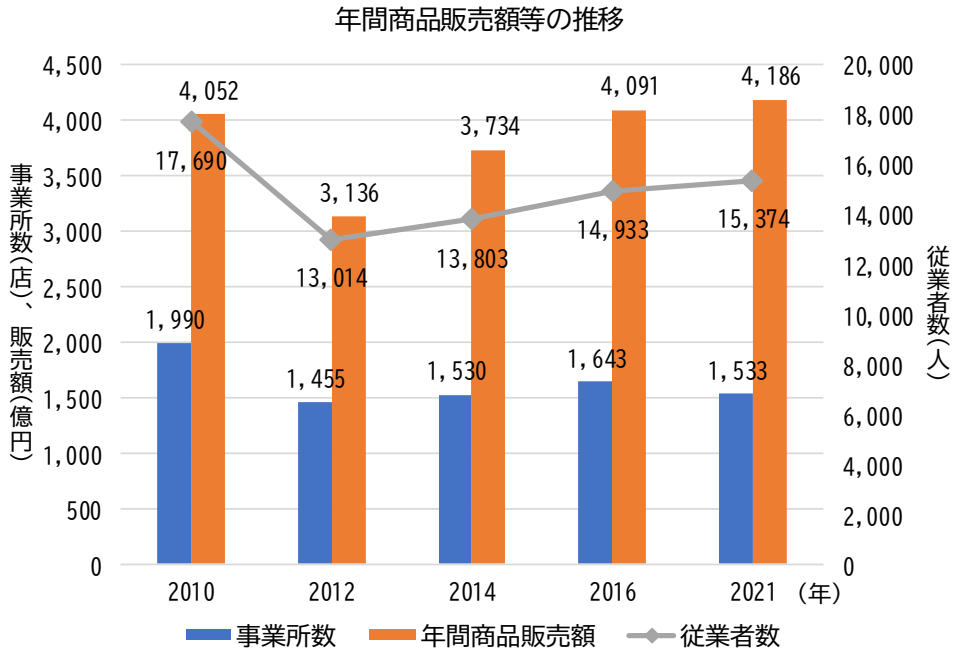


資料：経済産業省「経済センサス活動調査、工業統計調査、経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

（３）商業

①卸・小売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額

事業所数、従業者数、年間商品販売額のいずれも 2012 年に減少し、その後はほぼ横ばいで推移しています。2021 年の年間商品販売額は県内 7 位に位置しています。

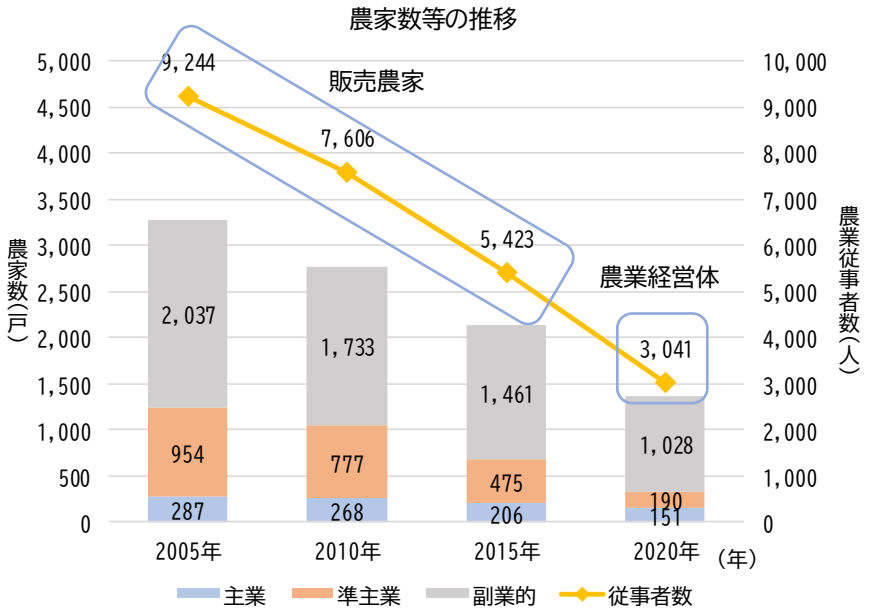


資料：経済産業省「商業統計調査、経済センサス活動調査」

（４）農業

①農家数の推移

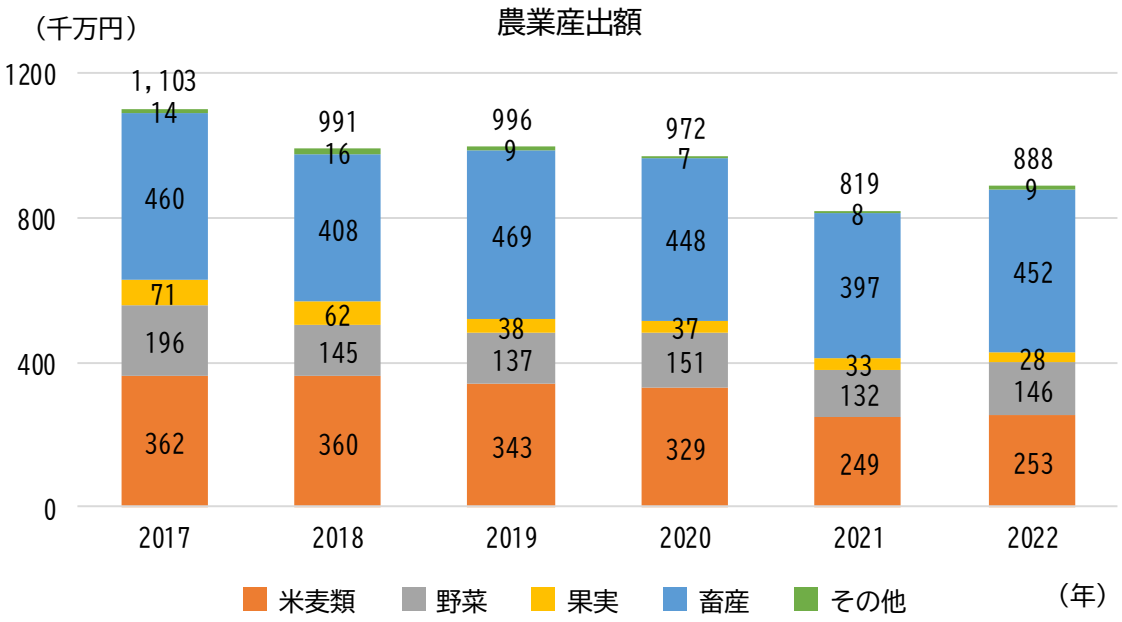
農家数は、2005 年から 2020 年の間に、大幅に減少しています。特に、準主業農家（農家所得の 50%未満が農業所得で、１年間に 60 日以上自営農業に従事している 65 歳未満の世帯員がいる農家）が大幅に減少しており、生産年齢人口の農家離れが進んでいます。



資料：農林水産省「農林業センサス」

②農業産出額の推移

農業産出額（推計）は年々減少する傾向がみられ 2022 年は県内 15 位となっています。内訳として、米麦類と畜産が 7 割を超えています。2022 年はだいこんが県内 3 位（全国 20 位）、稲作が県内 4 位（全国 147 位）で、本市の主要品目となっています。



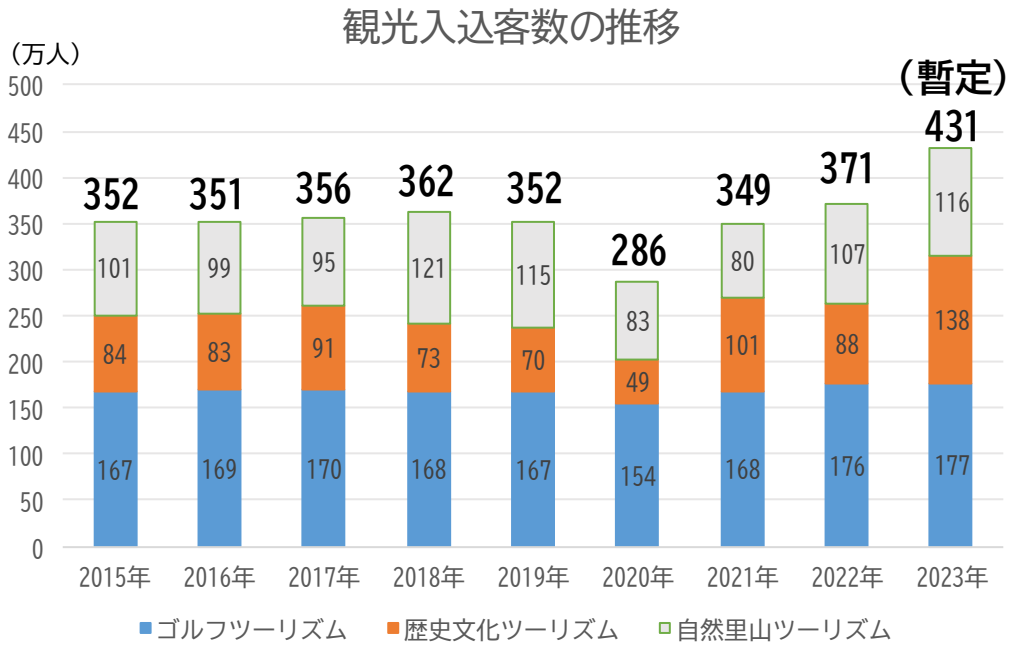
資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

（５）観光

①観光入込客数

本市の交流人口の中心は観光入込客です。内訳としては、ゴルフ来訪者が非常に多く、県内最多となっています。

2019 年の一連の災害やコロナ禍などの影響で 2020 年は観光入込客数が落ち込んだものの、以降は増加し、2023 年には 400 万人を超えコロナ前の水準を上回り、計画期間内で最多となっています。



資料：千葉県「観光入込調査報告書」

ゴルフ場入客数の比較（2022年）

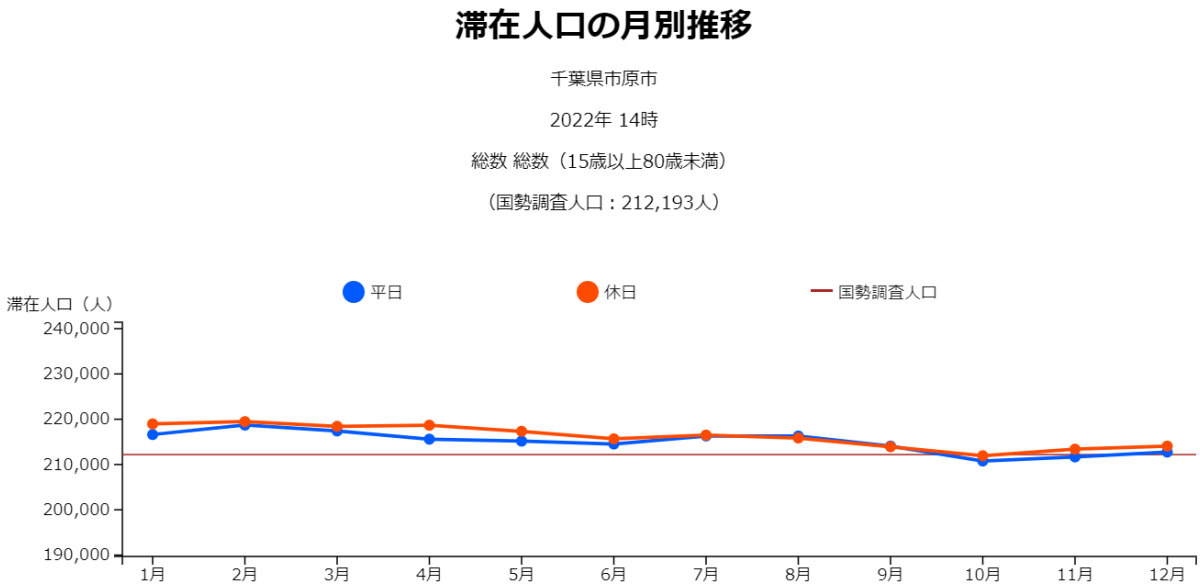
順位※	ゴルフ場入客数(千人)	
1	**市原市**	**1,755**
2	香取市	541
3	成田市	519
4	野田市	445
5	君津市	370

※54市町村中

資料：千葉県「観光入込調査報告書」

②滞在人口（平日・休日）

年間の滞在人口は、概ねいずれの時期についても、15 歳以上 80 歳未満の市内在住人口を上回っており、市外からの流入がうかがえます。また、平日と比べ休日の方がやや多い傾向がみられます。



【出典】
株式会社ＮＴＴドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」

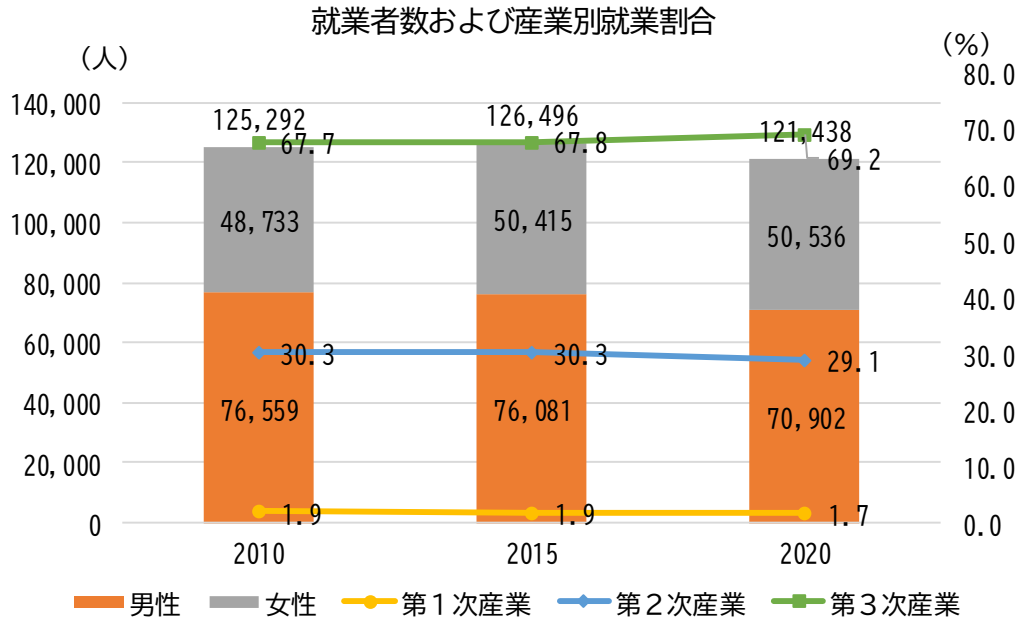
【注記】
滞在人口率は、滞在人口（株式会社ＮＴＴドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」）÷国勢調査人口（総務省「国勢調査」夜間人口）で表される。
滞在人口とは、指定地域の指定時間（4時、10時、14時、20時）に滞在していた人数の月間平均値（平日・休日別）を表している。
携帯電話の運用データについては国籍に関わらず契約者のデータが使用されていることから、
滞在人口の算出には国内に居住する外国人も推計として含まれている。
ここでいう「国勢調査人口」とは、表示対象に指定した性別・年代の人口であり、当該自治体における総人口ではない。

資料：RESAS（地域経済分析システム）

（６）就労・所得

①産業別就業人口割合

本市の就業者数は 12 万人程度で推移しており、男性は減少がみられる一方、女性は増加しています。また、産業別では第 3 次産業の割合が増加しています。県内自治体と比較すると、第 2 次産業就業者数が 5 番目に高いことが特徴です。



資料：総務省「国勢調査」

産業別就業人口の比較（2020年）

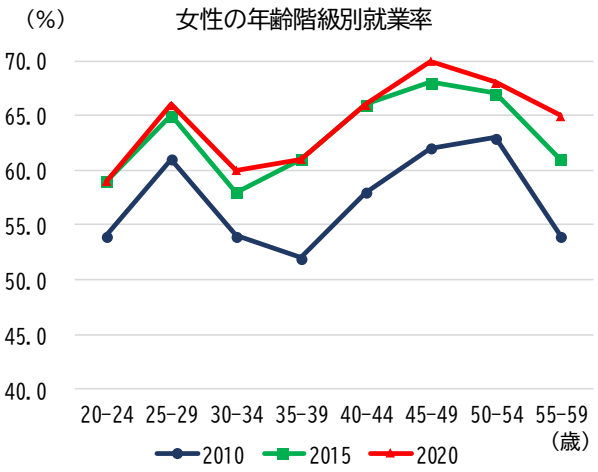
順位※	第１次産業（%）		順位※	第２次産業（%）		順位※	第３次産業（%）	
1	芝山町	21.5	1	九十九里町	31.2	1	浦安市	87.6
2	多古町	19.0	2	君津市	30.3	2	市川市	83.2
3	南房総市	17.4	3	東庄町	29.9	3	船橋市	82.7
4	旭市	17.2	4	銚子市	29.2	4	我孫子市	82.5
5	東庄町	15.3	-	-	-	5	松戸市	82.2
41	**市原市**	**1.7**	**5**	**市原市**	**29.1**	**31**	**市原市**	**69.2**

※54市町村中

資料：総務省「国勢調査」

②女性の年齢階級別就業率

女性の就業率を年齢階級別にみると、20 歳代から 50 歳代のいずれの年代も就業率が増加しています。県内では 38 番目となっています。



資料：総務省「国勢調査」を基に作成

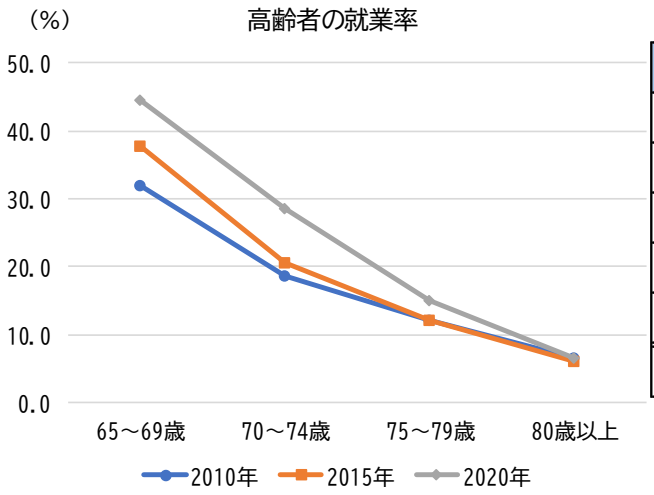
女性就業率の比較（2020年）

順位※	女性就業率(%)	
1	多古町	54.0
2	成田市	51.1
3	浦安市	50.8
4	旭市	50.7
5	富里市	50.3
38	**市原市**	**44.3**

※54市町村中　　資料：総務省「国勢調査」

③高齢者の就業率

高齢者の就業率をみると、概ねいずれの年代も就業率が増加しています。県内では 34 番目となっています。



資料：総務省「国勢調査」をもとに作成

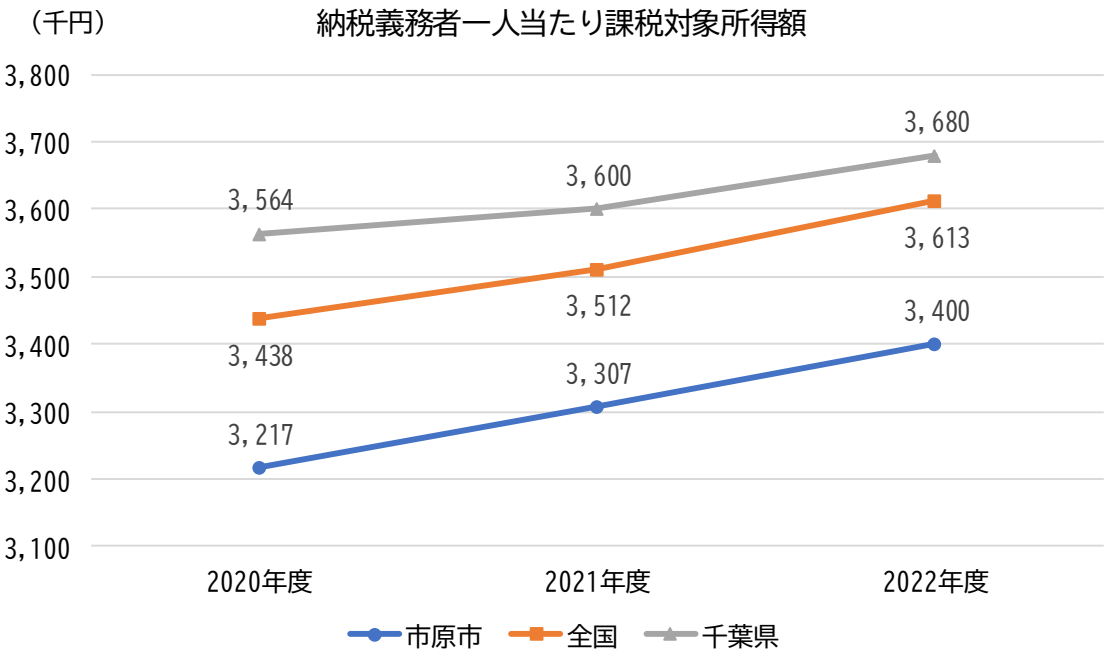
高齢者就業率の比較（2020年）

順位※	高齢者就業率(%)	
1	多古町	37.6
2	芝山町	33.7
3	富里市	32.3
4	八街市	31.6
5	鋸南町	31.4
34	**市原市**	**23.7**

※54市町村中　　資料：総務省「国勢調査」

④納税義務者一人当たり所得

本市の納税義務者一人当たり課税対象所得額は、年々増加していますが、国や県の水準を下回っている状況です。



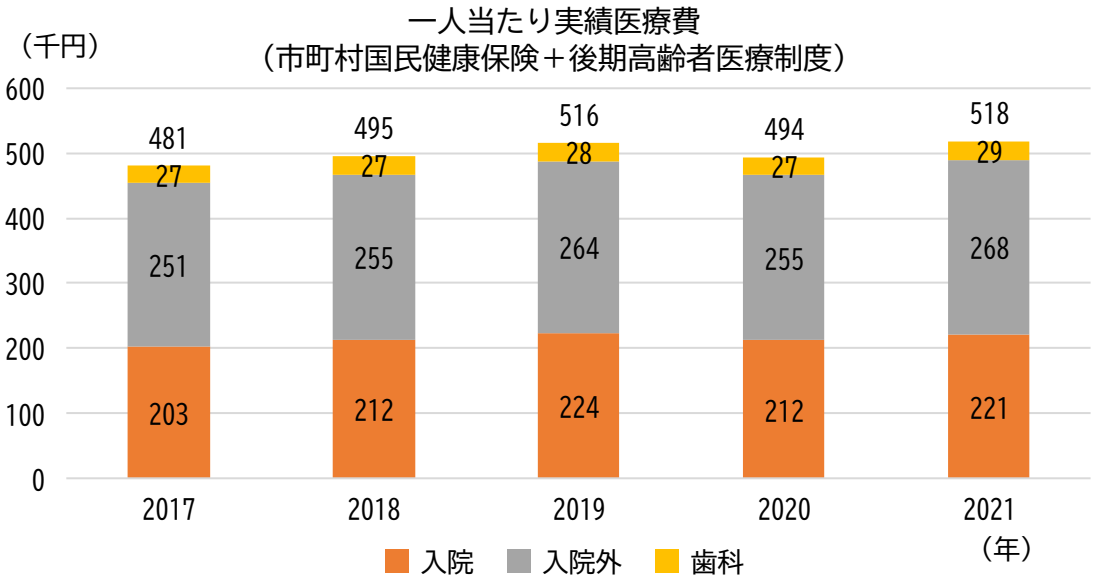
資料：総務省「市町村税課税状況等の調」

3　生活・環境

（1）医療・福祉

①一人当たり医療費

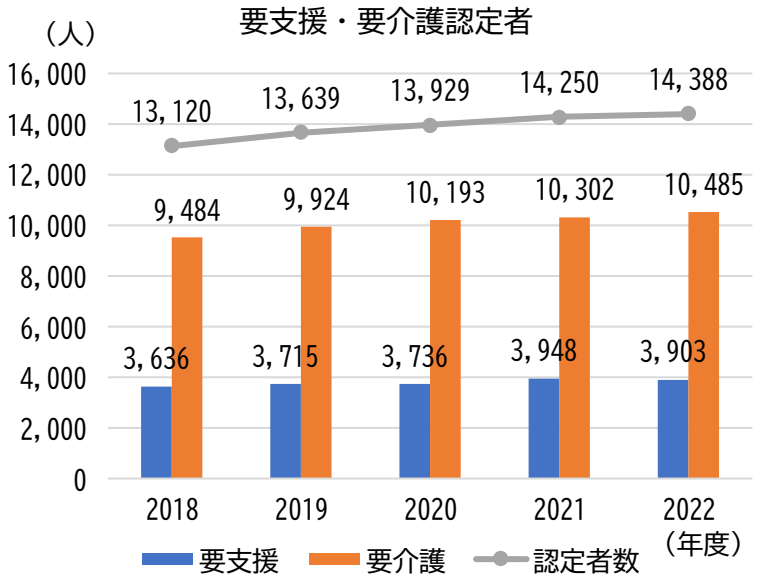
本市の一人当たり医療費は、50 万円前後で推移しており、対全国比では約 85%となっています。



資料：厚生労働省「医療費の地域差分析」

②要介護・要支援認定者数の推移

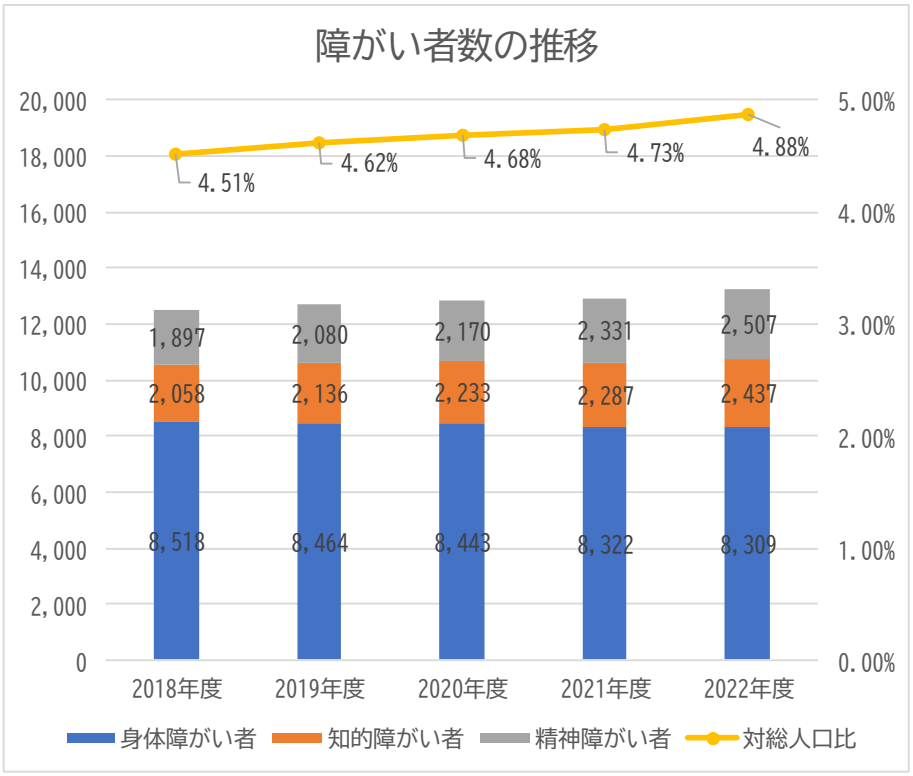
高齢化の進行に伴い、要介護・要支援認定者は年々増加し、特に要介護認定者が増加しています。



資料：市原市　高齢者支援課

③障がい者数の推移

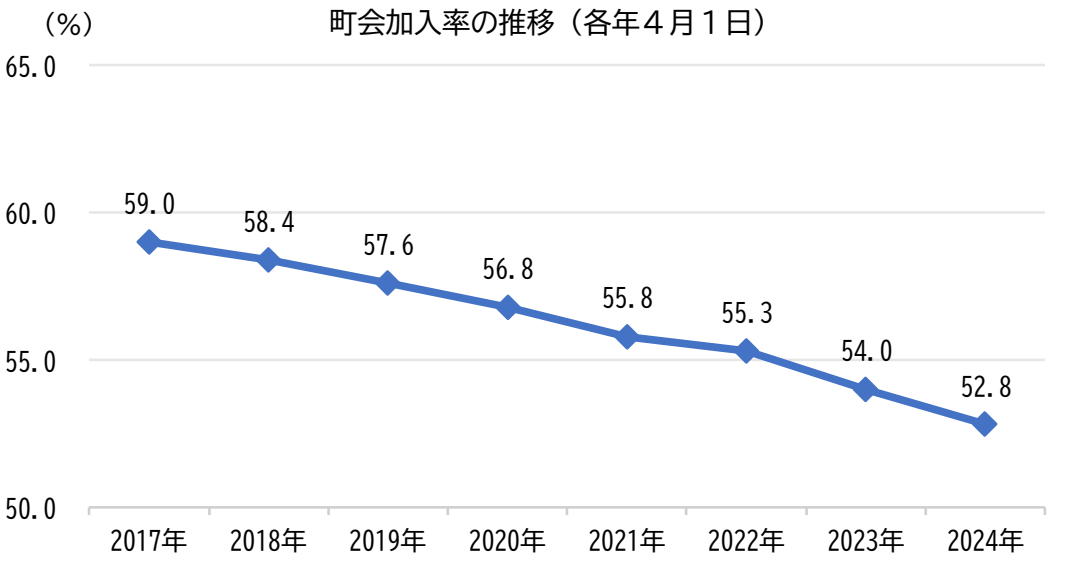
障害者手帳所持者数および市の総人口に占める障害者手帳所持者の割合は年々増加傾向にあります。特に、精神障害者保健福祉手帳所持者数はこの 5 年間で約 1.3 倍の伸びとなっています。



資料：市原市　障がい者支援課

④町会加入率の推移

町会加入率は年々減少しており、地域コミュニティの希薄化が一層進行していることがうかがえます。

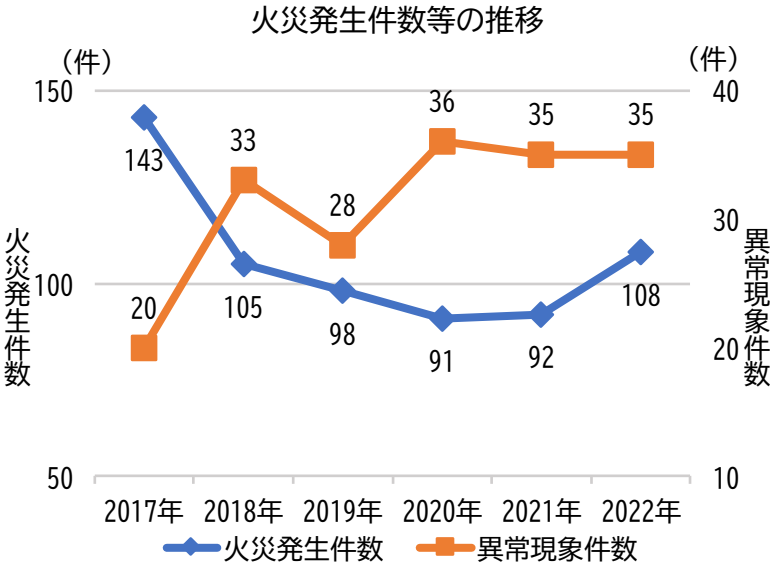


資料：市原市　地域連携推進課

（２）安全・安心

①火災発生件数の推移

火災発生件数は 2018 年以降、横ばい傾向にありますが、人口 1 万人あたりの火災発生件数で見ると、県内では 34 番目と低くなっています。また、異常現象（石油コンビナート等災害防止法における特定事業所において発生した、出火、爆発、漏えい、破損、暴走反応等）は横ばいとなっています。



資料：市原市　火災予防課

人口1万人あたり
火災発生件数の比較（2021年）

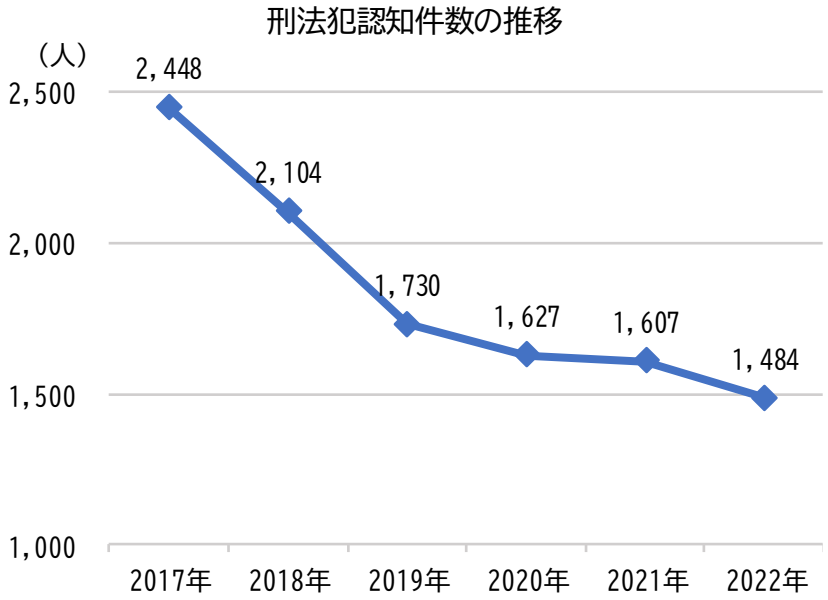
順位※	火災発生件数(件)	
1	長柄町	26.8
2	長南町	15.3
3	御宿町	13.1
4	白子町	11.7
5	大多喜町	11.3
34	**市原市**	**3.4**

※54市町村中

資料：千葉県「消防防災年報」

②刑法犯認知件数の推移

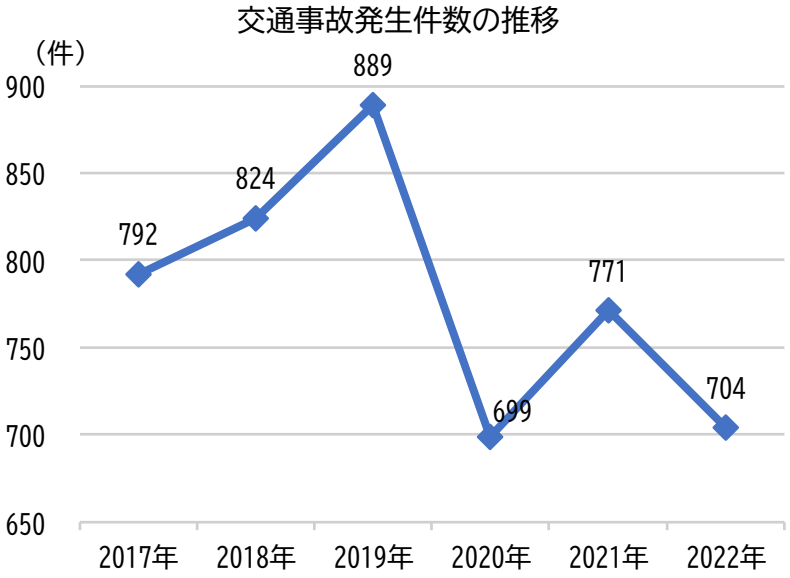
刑法犯認知件数は年々減少しています。



資料：千葉県警察本部「犯罪統計」

③交通事故発生件数の推移

交通事故発生件数は、コロナ禍の 2020 年に大幅に減少し、以降 700 件前後で推移しています。



人口千人あたり
交通事故発生件数の比較（2022年）

順位※	交通事故発生件数（人口千対）	
1	芝山町	4.2
2	東金市	3.6
3	酒々井町	3.4
4	成田市	3.2
5	茂原市	3.1
11	**市原市**	**2.7**

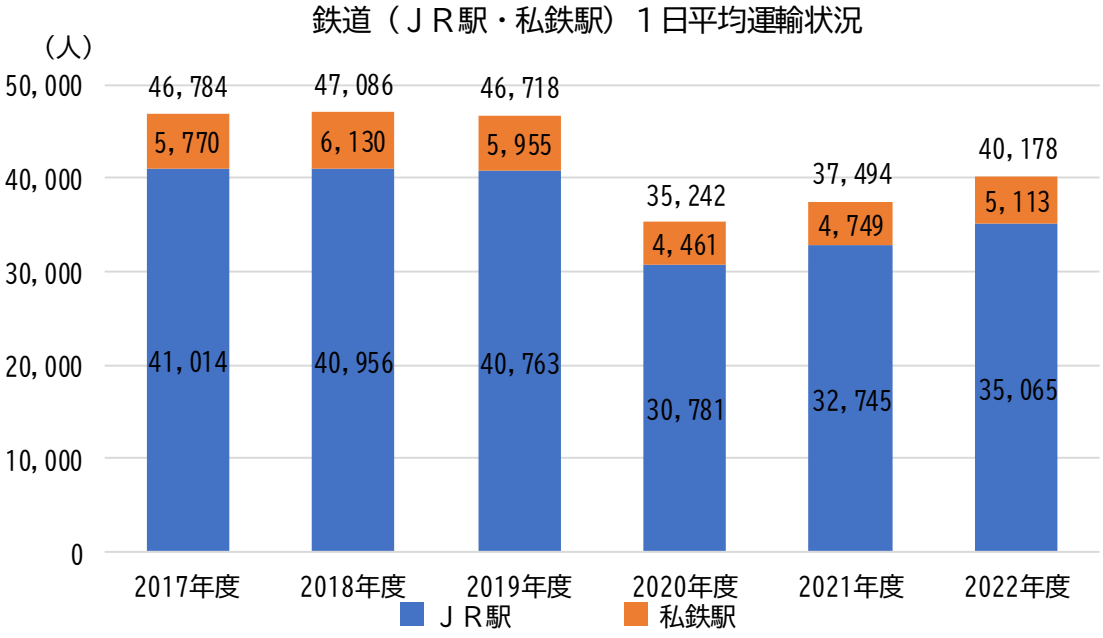
※54市町村中

資料：千葉県警察本部「交通事故統計」

資料：市原市　地域連携推進課

④鉄道１日平均運輸状況

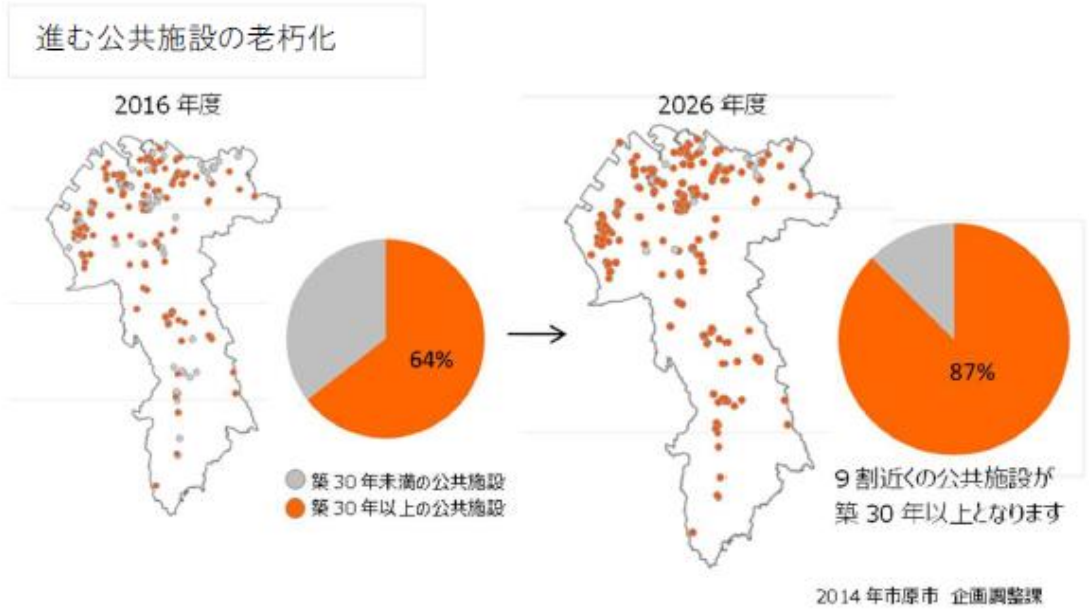
市内の鉄道の 1 日平均運輸状況は、2019 年度以前は、4.6 万人程度で推移していましたが、コロナ禍の 2020 年度には 3.5 万人程度まで減少しました。2021 年度以降は回復傾向がみられます。



資料：市原市「令和5年度版市原市統計書」

⑤公共施設の老朽化

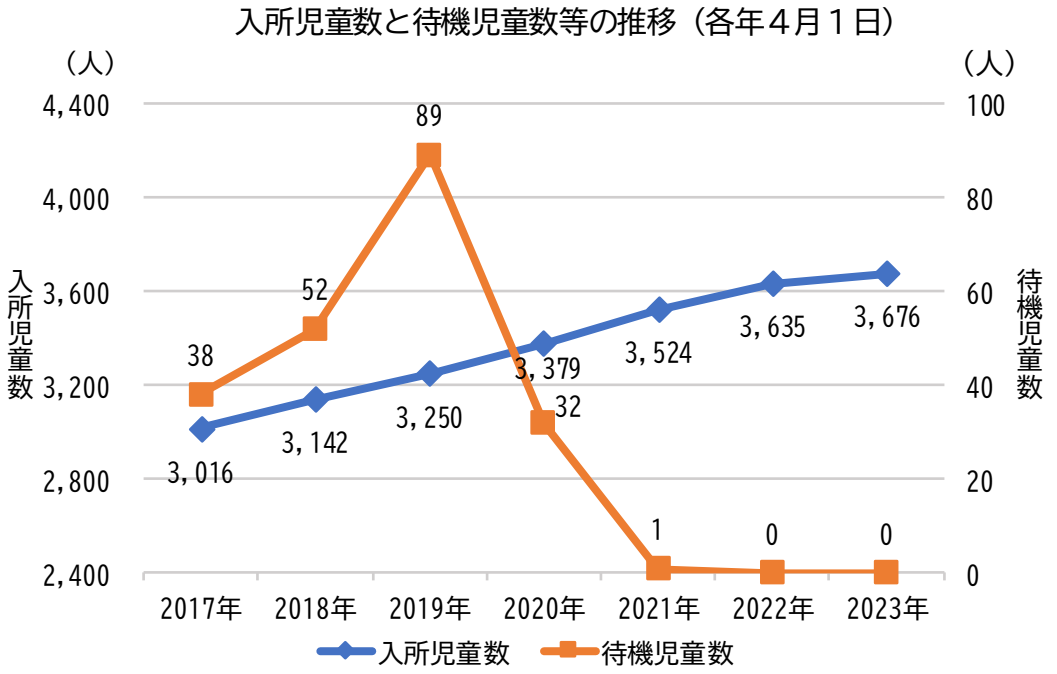
本市は、2016 年時点で、築 30 年以上の公共施設が 6 割を超えていました。2026 年度には築 30 年以上の公共施設は 9 割近くに達する見込みとなっています。



（3）子ども・教育

①入所児童数、待機児童数の推移

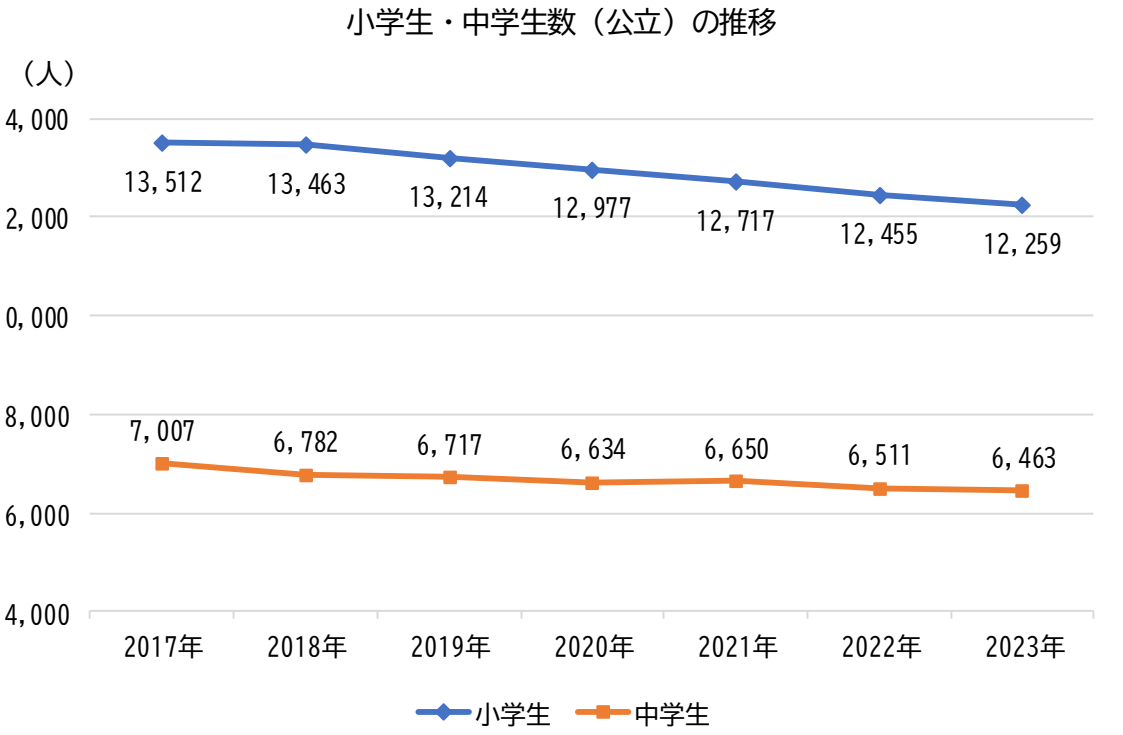
本市の入所児童数は年々増加しており、待機児童数は 2019 年の 89 人をピークに減少し、2022 年からは 2 年連続で待機児童数がゼロとなっています。



資料：市原市　保育課

②小中学校の児童・生徒数の推移

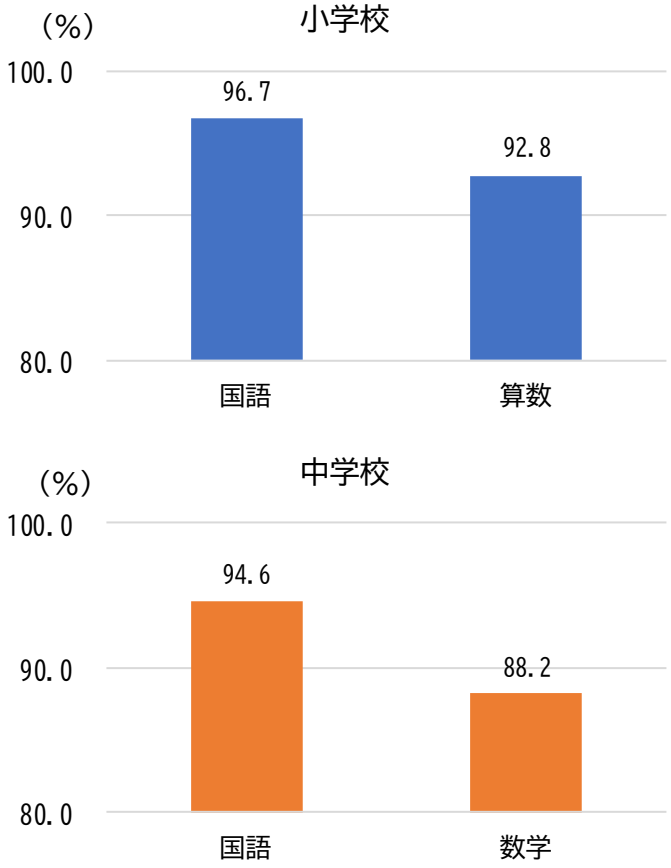
本市の小中学校児童・生徒数は、年々減少しています。



資料：文部科学省「学校基本調査」

③全国学力・学習状況調査結果

全国学力・学習状況調査結果によると、本市の状況は、全国平均を 100%としたときの数値を下回っています。

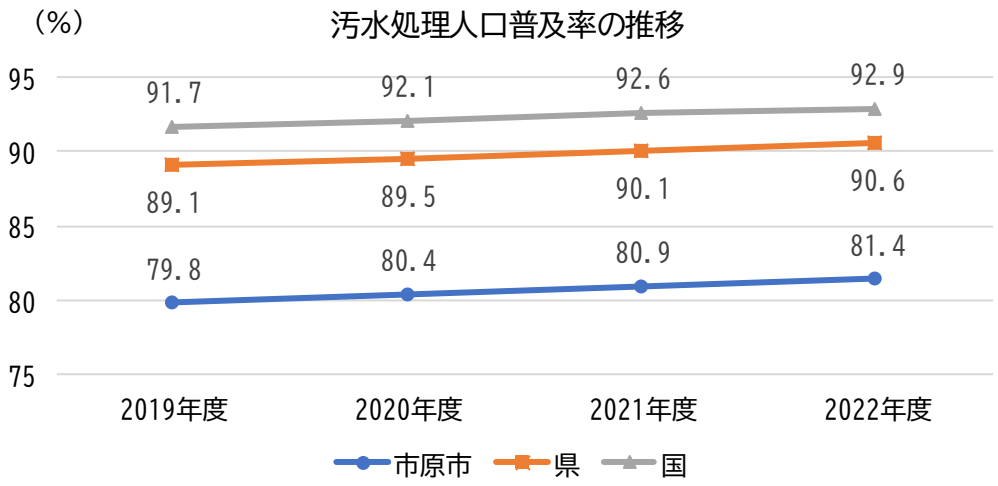


資料：文部科学省「令和５年度全国学力・学習状況調査」

（４）環境

①汚水処理人口普及率

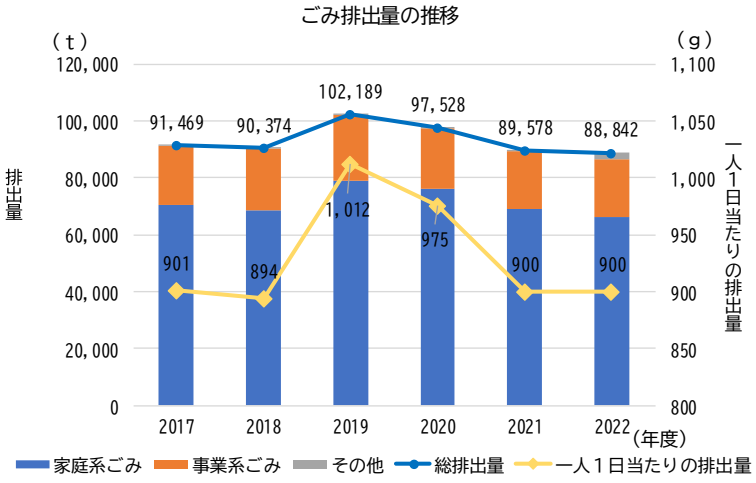
本市の汚水処理人口普及率は、年々増加していますが、国や県の水準を下回って推移している状況です。



資料：国土交通省・環境省・農林水産省「合同調査結果報道発表資料」

②ごみ排出量の推移

本市のごみ総排出量および一人１日当たりの排出量は、2019 年度をピークに減少しており、家庭系ごみと事業系ごみのいずれも減少しています。一人１日当たりの排出量を県内自治体と比較すると 30 番目で、県内では中位の水準といえます。



資料：市原市　令和5年度清掃事業概要

一人１日当たりの排出量
比較（2022年）

順位※	一人１人当たりの排出量(g)	
1	多古町	604
2	長生村	668
3	長南町	683
4	野田市	695
5	横芝光町	711
30	**市原市**	**900**

※54市町村中

資料：環境省「廃棄物処理技術情報」

Ⅲ　市原市の取組

※ここでは、市原市総合計画が目指す「2026 年のいちはらの姿」の実現に向けて、2017 年から 2023 年までの 7 年間に、市原市が取り組んできたことや、市民アンケートなどをもとに測定した指標の動向から見る総括について、分野別に記載します。

掲載内容の説明


分野１　経済・農業・観光など

①目指している方向性

前へ。

・臨海部企業や中小企業の発展、JR3 駅周辺などの活性化とビジネス機会の創出など、本市のポテンシャルを活かし、新たな価値を創出するまちを目指します。

・豊かな食文化、里山文化の発信、観光など、本市の魅力や特性を最大限に活かしながら、国内外と交流を深め、新たな魅力を創出するまちを目指します。

②総括

・地域経済の持続的発展に向け、企業の設備投資に対する支援（企業立地奨励金）や中小企業向けの経営サポート、若者や女性の起業・創業支援など、各種事業を推進することができました。

・人口減少による労働力不足や 2050 年カーボンニュートラルなど、社会経済情勢の変化による課題が浮き彫りとなってきていることから、こうした状況も踏まえて各種事業に取り組む必要があります。

・農業の分野では、担い手不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害の継続など、取り巻く環境が厳しさを増していることから、新規就農者への支援や農地・森林整備の支援、有害鳥獣対策を継続する必要があります。

・ゴルフやアート、養老渓谷など、多様な地域資源を活かした観光振興により、交流人口が増加傾向にあることから、引き続き本市の魅力を市内外に発信します。

③総合計画に掲げる主な指標の動向

中小企業向け支援を測る指標や有害鳥獣被害を計測する指標について、目標達成に向け数値が上昇傾向にありました。

④7 年間の主な取組

✔中小企業の経営サポートを強化

・ サンプラザ市原 12 階（市原市五井中央西 1-1-25）に、起業・創業支援や個人事業主・中小企業者の経営サポートの支援拠点となる市原市産業支援センター SATELLITE（Ichihara Industry Support Center）をオープンしました。

✔いちはらでしか生産できないオリジナルの梨「碧月（あおづき）」

・ 「幸水」などの旬が過ぎたころ、お彼岸の需要にも対応できる品種を開発しようと、市農業センターの職員が平成 19 年から 15 年かけて育成・選抜した大玉かつ豊産の品種で、甘みと酸味のバランスが良く、市原市内でのみ生産が可能なオンリーワンの品種です。

①目指している方向性
総合計画で目指す「2026 年のいちはらの姿」の実現に向けて、2017 年から 2026 年までの 10 年間に取り組む方向性を記載します。

②総括
これまでの 7 年間を振り返り、成果と課題を総括的に記載します。

③主な指標の動向
施策の成果を測る指標の動向のうち、特徴的なものを掲載します。

④7 年間の取組
7 年間を振り返った中で、特に力をいれて取り組んだ事業を紹介します。

分野１　経済・農業・観光など

①目指している方向性

前へ。

・臨海部企業や中小企業の発展、JR3 駅周辺などの活性化とビジネス機会の創出など、本市のポテンシャルを活かし、新たな価値を創出するまちを目指します。

・豊かな食文化、里山文化の発信、観光など、本市の魅力や特性を最大限に活かしながら、国内外と交流を深め、新たな魅力を創出するまちを目指します。



②総括

・地域経済の持続的発展に向け、企業の設備投資に対する支援（企業立地奨励金）や中小企業向けの経営サポート、若者や女性の起業・創業支援など、各種事業を推進することができました。
・人口減少による労働力不足や 2050 年カーボンニュートラルなど、社会経済情勢の変化による課題が浮き彫りとなってきていることから、こうした状況も踏まえて各種事業に取り組む必要があります。
・農業の分野では、担い手不足、有害鳥獣被害の継続など、取り巻く環境が厳しさを増していることから、新規就農者への支援や農地・森林整備の支援、有害鳥獣対策を継続する必要があります。
・ゴルフやアート、養老渓谷など、多様な地域資源を活かした観光振興により、交流人口が増加傾向にあることから、引き続き本市の魅力を市内外に発信します。

③総合計画に掲げる主な指標の動向





中小企業向け支援を測る指標や有害鳥獣被害を計測する指標について、目標達成に向け数値が上昇傾向にありました。

④７年間の主な取組

✔中小企業の経営サポートを強化

・ 2022 年 10 月、サンプラザ市原 12 階（市原市五井中央西 1-1-25）に、起業・創業支援や個人事業主・中小企業者の経営サポートの支援拠点となる市原市産業支援センターSATELLITE（Ichihara Industry Support Center)をオープンしました。



✔いちはらでしか生産できないオリジナルの梨「碧月（あおづき)」

・ 「幸水」などの旬が過ぎたころ、お彼岸の需要にも対応できる品種を開発しようと、市農業センターの職員が 2007 年から 15 年間かけて育成・選抜した大玉かつ豊産の品種です。2022 年に品種登録を出願公表されました。甘みと酸味のバランスが良く、市原市内でのみ生産が可能なオンリーワンの品種です。





分野２　コミュニティ・健康・福祉など

①目指している方向性

共に。

・町会やNPO・ボランティア団体など、地域活動に取り組む団体の連携による新たなコミュニティの力が、地域での見守り活動や心のバリアフリーなどを推進する、地域のつながりによって支え合うまちを目指します。

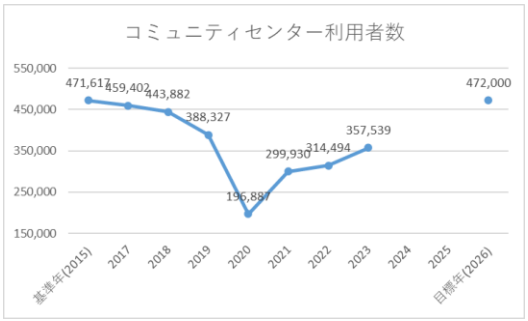
・地域の人々が生涯にわたって生きがいを持ち、地域社会の主役として、長く健康に過ごせるまちを目指します。ひとの健康、コミュニティのつながり、互いに支え合う心がひとつとなって、地域全体が健康となるまちを目指します。



②総括

・少子高齢化による地域活動団体等の担い手不足や新型コロナウイルス感染症をきっかけとしたコミュニティの希薄化など、地域活動の維持・確保に向けた取組の重要性が一層高まっています。
・引き続き、地域活動を行う場所や機会を確保するとともに、新型コロナウイルス感染症をきっかけに顕在化した孤独・孤立・貧困といった課題へ対応するため、福祉総合相談センターを活用するなど包括的な支援を推進する必要があります。
・高齢化率の上昇に伴い、誰もが健康でいられるための取組や心のバリアフリーの浸透など、各種支援・啓発を継続する必要があります。

③総合計画に掲げる主な指標の動向





新型コロナウイルス感染症をきっかけとして2020年度に各種指標が下降しました。指標は回復傾向にありますが、指標値が落ち込む前のピーク時までは回復していない状況です。

④７年間の主な取組

✔いちはら推し活制度（通称：イチ推し）

・ 市民活動に参加した方などに、ポイントを贈呈する制度です。市民活動などに参加して貯めたポイントは、応援したい市民活動団体への寄付や、市の魅力商品との交換に使用できます。



市の魅力商品の例



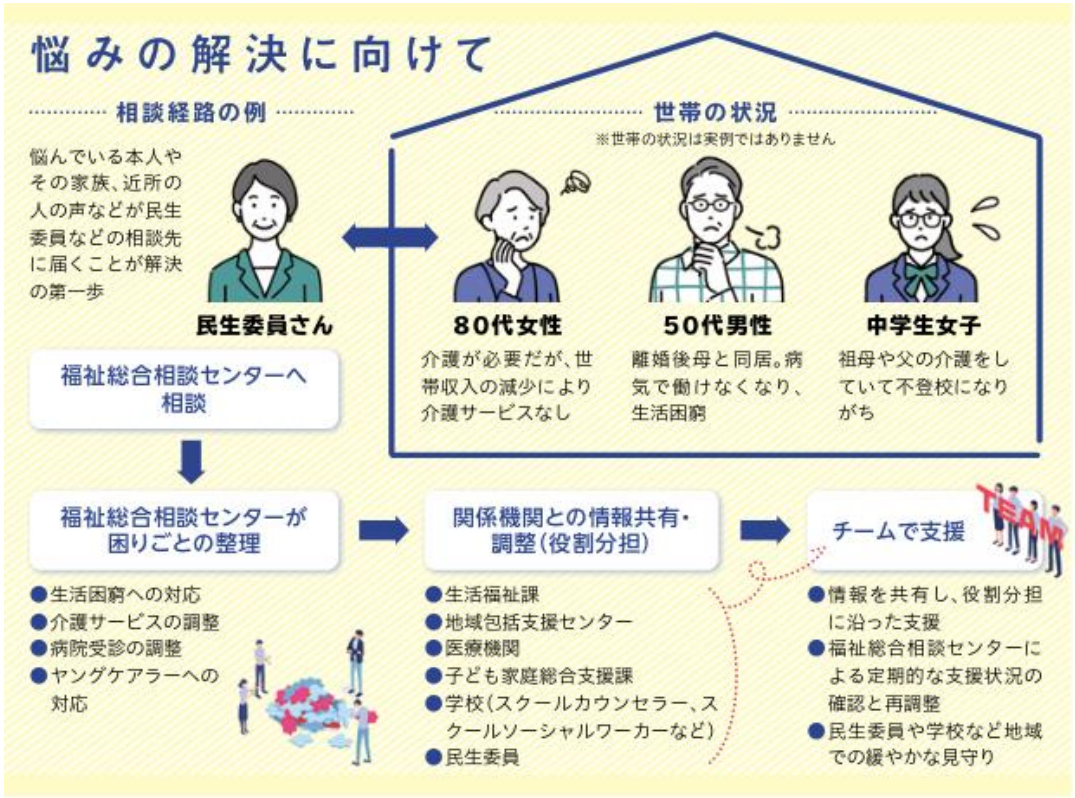
高滝湖グランピングリゾート
宿泊券



いちはらの梨ゼリー

✔福祉総合相談センターの設置

・ 2021 年度から、市役所及び市内 9 地区に福祉総合相談センターを設置し、高齢者や子ども、障がい者等、属性や世代を問わず、包括的な相談支援体制を構築しました。



分野３　まちづくり、公共交通、安心・安全など

①目指している方向性

強く。

・JR3 駅周辺などの拠点を中心に都市基盤が機能的に集積し、利便性が高く、女性や若者に魅力的なライフスタイルを提供するまちを目指します。

・拠点間が公共交通で結ばれ、ひとや産業が活発に交流・連携するまちを目指します。

・防災や防犯など地域の守る力が高まり、安心・安全な暮らしを送ることができるまちを目指します。



②総括

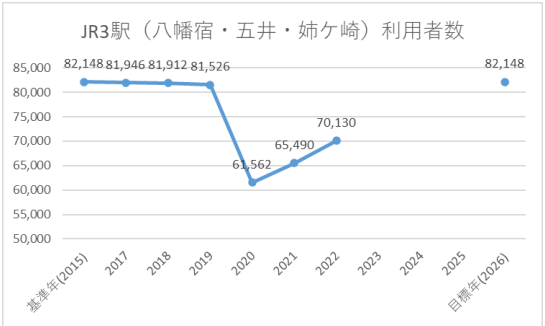
・JR3 駅周辺のまちづくりの取組として、拠点まちづくりビジョンや拠点別整備基本計画（五井編）等を策定し、都市基盤を機能的に集積できるよう、各種事業を推進しました。また、主要道路や上下水道のインフラ、公園、公共施設の整備に戦略的に取り組み、魅力あるまちづくりを進めました。

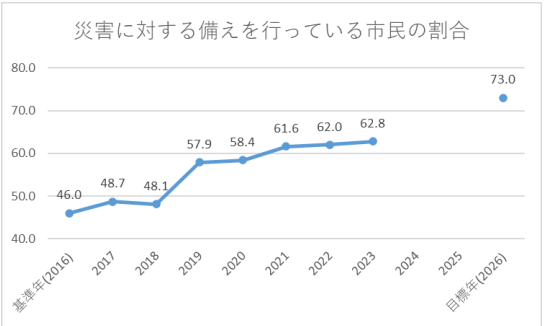
・公共交通を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症をきっかけとした利用者の減少、生産年齢人口の減少や働き方改革の影響による運転士不足など、厳しさを増しており、鉄道やバス路線の維持・確保に向けた支援、多様化する移動ニーズへの対応に向けた支援のあり方を検討する必要があります。

・2019 年に本市を襲った一連の災害を教訓として、防災対策意識が高まってきていることから、今後も有事に備える重要性を周知・啓発するとともに自助・共助・公助が一体となった取組を推進する必要があります。

・また、交通事故防止に向けた道路整備、啓発についても継続して取り組みます。

③総合計画に掲げる主な指標の動向





公共交通の利用状況は、コロナをきっかけに大幅に下落し、その後は回復傾向です。防災に関する指標は、2020 年の災害をきっかけに、上昇傾向にあります。

④７年間の主な取組

✔拠点まちづくりビジョンの実践

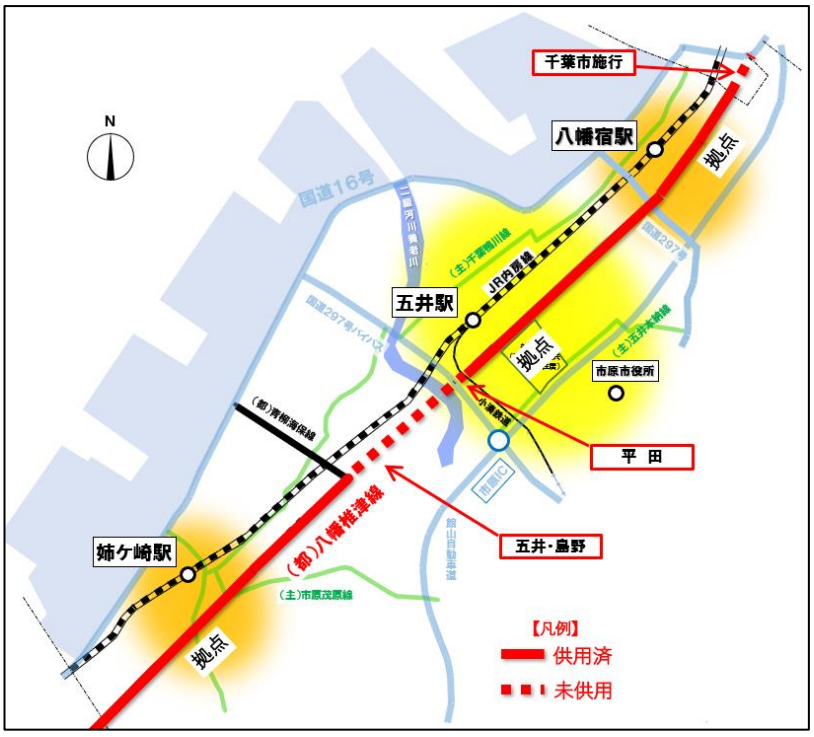
・ JR3 駅周辺におけるまちづくりの方向性を定め、賑わいと交流を持続的に生み出す、魅力あふれるまちづくりに取り組んでいます。五井駅周辺については、まちづくりの方向性である「文化と教育を核に、多様な人が集う中心拠点」を具現化するための土地利用方針や事業手法等を取りまとめました。



五井駅周辺イメージ図

✔八幡椎津線の整備

・ 八幡宿駅、五井駅、姉ケ崎駅の JR3 駅周辺の各拠点をつなぎ、市民生活や産業を支えていることから、市の最重要路線として早期の全線開通を目指しています。



分野４　子育て、教育、文化・スポーツ、多様性など

①目指している方向性

夢へ。

・子どもたちが学校・家庭・地域の連携のもとでそれぞれの資質と能力を伸ばし、愛着と誇りを持って自分らしく成長するまちを目指します。若者が結婚・子育ての夢を持ち、女性が活躍するまちを目指します。誰もがいちはらの文化やスポーツに親しみ、支え、交流するまちを目指します。

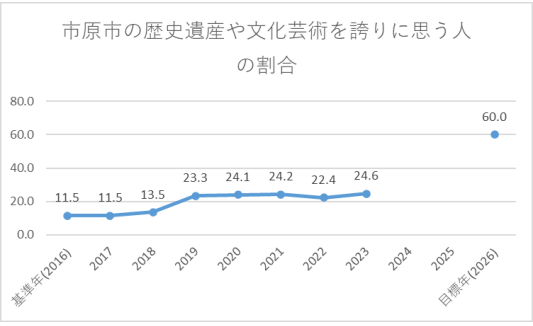


②総括

・子育て・教育の分野では、「このまちで、安心して子どもを産み、育てたい」という思いを叶えられるよう、いちはら子ども未来館（we ホール）の新設や学校給食共同調理場の再整備をはじめとした施設整備、子育て世帯向けの支援策、保育所整備、子ども向けの教育施策など、各種事業を強力に推進しました。
・歴史・文化の分野では、多様な歴史遺産やチバニアンなど、地域資源の魅力が十分浸透するよう、歴史博物館などを有効活用し、市民の愛着と誇りの醸成につなげる必要があります。
・多様性を尊重する社会的な動きを受け、同性・異性を問わず、自由意思により、お互いを人生のパートナーとして、共同生活を行う約束ができるパートナーシップ制度をスタートし、誰もが自分らしく活躍できる社会を推進しました。

③総合計画に掲げる主な指標の動向





国の基準に基づく保育所等待機児童数は 2 年連続で 0 人を達成しました。

本市の魅力的な歴史・文化遺産について、誇りに思う人の割合が低い値で推移していることから、愛着と誇りを持っていただけるような取り組みが必要です。

④７年間の主な取組

✔いちはら子ども未来館オープン

・ 子育てサロンや託児スペース、プレイルーム、子育てネウボラセンター、発達支援センター地域支援室など、子ども・子育て世帯の居場所づくりと行政機能を複合した子育て支援の総合的な拠点施設として、2024 年 4 月にオープンしました。





託児スペース

プレイルーム

母子保健
療育相談

✔いちはら学の作成

・ 市民の方々にいちはらをもっと知ってもらうため、地域素材を学びの柱とした子どもから大人まで共通して学べるテキストを 2024 年 4 月に公開しました。デジタル版でいつでもご覧いただけます。



分野５　温暖化対策、ごみ減量・再資源化、自然環境など

①目指している方向性

次へ。

・環境に対するひとの意識がさらに高まり、ごみの減量化や再資源化、再生可能エネルギーの利用が進む、環境に優しい地域社会を目指します。里山や養老川など本市の豊かな自然環境が、未来に引き継ぐべき貴重な資源として保全・活用され、自然との共生が進むまちを目指します。

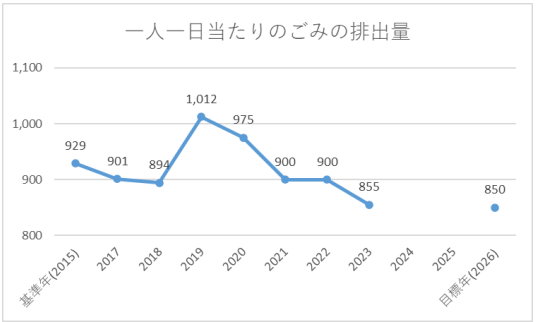


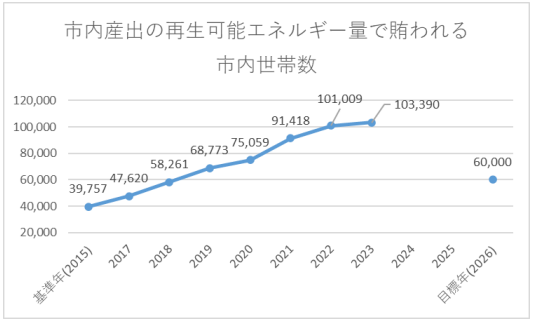
②総括

・ごみの減量・再資源化に向け、3R（Reduse,Reuse,Recycle）の取組を推進しましたが、2019 年に本市を襲った一連の災害による災害廃棄物の発生、また、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化に伴う飲食のデリバリー等の増加により、2019 年度にごみ排出量が大きく増加しました。現在は減少傾向にありますが、引き続き周知・啓発を行うとともに、更なる取組を推進する必要があります。

・2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、国において温室効果ガス排出量の削減目標が大きく見直されたことから、市原市地球温暖化対策実行計画を策定しました。また、次世代に豊かな自然環境を継承し、持続可能なまちを実現するための「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、地球温暖化対策を更に推進する意思を表明しました。

③総合計画に掲げる主な指標の動向



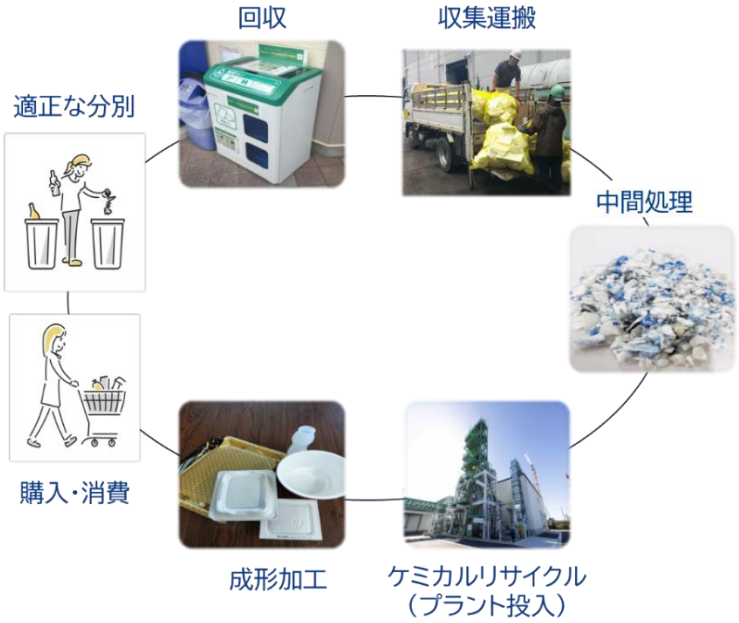


ごみの排出量や再生可能エネルギーの普及状況を測る指標について、上昇傾向にあります。

④７年間の主な取組

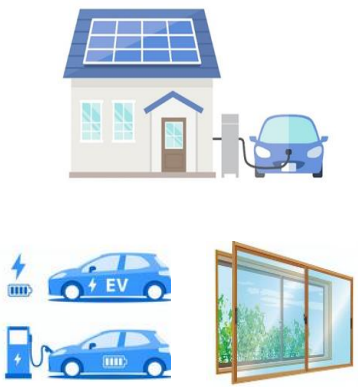
✔ポリスチレンケミカルリサイクルの推進

・ ごみの減量・再資源化を進めるため、食品トレーなどの使用済みポリスチレン製品を素材として回収後、化学的に分解し、再度製品として食品トレー等に使用する資源循環に取り組んでいます。



✔市民、事業者の省エネ設備の導入支援

・ 住宅用太陽光発電システムや窓の断熱改修、電気自動車等の導入などを行う市民に対し、経費の一部を補助しています。また、中小企業等が行う省エネ最適化診断やこの診断に基づく設備改修に係る費用についても補助しています。





省エネ最適化診断のイメージ
出典）一般社団法人環境共創イニシアチブ
https://shoeneshindan.jp/guide/

Ⅳ　用語解説

行	用語	解説
あ	エチレン	色々なプラスチックや化学製品をつくるための元になる材料のこと。例えば、スーパーの袋やペットボトル、ラップなど普段の生活で見かけるプラスチック製品の多くはエチレンから作られている。
	汚水処理人口普及率	家庭や工場から出る汚水を適切に処理するための施設（下水道設備など）を利用できる人口の割合を示したもの。
	温室効果ガス	太陽の熱エネルギーを地球にとどめる働きをするガスのこと。温室効果ガスの増加が地球温暖化の影響を及ぼしている。
か	市原市拠点まちづくりビジョン	市原市にある JR3 駅（八幡宿・五井・姉ケ崎）周辺におけるまちづくりの方向性を示したもの。
	市原市拠点別整備基本計画（五井編）	市原市拠点まちづくりビジョンに記載した JR3 駅周辺におけるまちづくりの方向性のうち、五井駅周辺におけるまちづくりを具現化するために策定したもの。
	現代アート	20 世紀以降に生まれた芸術の一つ。絵画や彫刻、写真、映像など、現代の最先端の技術も活用して様々な形で表現される。特に、社会や日常生活の中の問題やテーマを考えさせるような作品が多いと言われており、見て楽しむだけでなく、考えて楽しむことができるのが特徴。
	合計特殊出生率	1 人の女性が一生の間に、平均して何人の子どもを産むかを示す数字のこと。
	公的扶助制度	生活に困窮する国民に対して、最低限度の生活を保障し、自立を助けようとする国の制度のこと。
	子育てサロン	サロンは、フランス語で「談話室」の意味。 市原市の子育てサロンでは、子どもと一緒に遊んだり、遊びに来ている保護者同士でおしゃべりしたり、育児についての情報交換や相談ができる。
	コーホート要因法	年齢ごとにグループを作り、そのグループの人数が、出生・死亡・移動といった人口増減の要因により、時間とともにどう変わるかを考え、未来の各年齢の人口を予測する方法のこと。

行	用語	解説
	ゴールデンスパイク	地質学において時代を区分する基準となる地層のうち、世界で最もその時代の地層がよく観察できる典型的な地点と認定された場所に打ち込まれる、金色の「しるし」のこと。
さ	再生可能エネルギー	石油や石炭など埋蔵量に限りがあるエネルギー源に対して、太陽光や太陽熱、水力、風力、地熱など、一度利用した後でも比較的短期間に再生し、資源が枯渇しないエネルギーのこと。
	財政調整基金	地方自治体が災害などの将来の不足の事態や財政運営上の不安定さに備えるために設ける貯金のようなもの。
	サーキュラーエコノミー	「使用した物を新たな資源として循環させる」という新たな経済システム。モノを「捨てる」といった従来の発想から、モノを「活かす」という発想に転換させるもの。
	人口ピラミッド	男女別に年齢ごとの人口を表したグラフのこと。縦軸が年齢、横軸が人数を表しており、このグラフを見ると、その国や地域に住んでいる方の年齢や人数を把握することができる。
	スナッグゴルフ	ゴルフの基礎を、楽しみながら学べるスポーツ。通常のゴルフよりも大きなクラブとボールを使い、ターゲットにボールを当てて得点を競う。安全で簡単にプレイできるため、子どもから大人まで幅広い年齢層で楽しめる。
	ゼロカーボンシティ宣言	地方公共団体が、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指して行う宣言のこと。
た	待機児童数	保育施設に入りたくても入れない子どもの数のこと。
	第 1 次産業	自然の資源を使用し、飲食物や素材を作る仕事のことで、農業や畜産、漁業などのことを指す。
	第 2 次産業	第 1 次産業で作ったものや原材料を加工して、新しい製品を作る仕事のことで、鉱業や建設業、製造業などのことを指す。
	第 3 次産業	モノを作るのではなく、サービスやサポートを提供する仕事のことで、飲食サービス業や教育・医療・福祉関係の仕事など多くの仕事のことを指す。

行	用語	解説
	団塊の世代 団塊ジュニア	団塊の世代は、日本の第一次ベビーブームの時期（1947～1949 年）に生まれた世代のことで、たくさんの人が一緒に生まれたため、「団塊」と呼ばれている。 団塊ジュニアは、団塊の世代の子ども世代にあたり、第二次ベビーブーム（1971～1974 年頃）の時期に生まれた世代を指す。
な	ネウボラ	ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場」の意味。 市原市の子育てネウボラセンターでは、妊娠・出産・子育てまで、段階に応じた切れ目のない支援を目指し、妊婦健診、妊産婦訪問などの支援のほか、プレ親教室、食育講座など、妊娠中・子育て中のパパやママを支えるサービスを展開している。
は	扶助費	誰もが安心して生活できるよう、社会保障の一環として国や地方公共団体が提供する経済的な支援のこと。生活保護費や、医療費の助成などが該当する。
	ポリスチレンケミカルリサイクル	ポリスチレン：食品トレーなど（スーパーで見かける肉や魚のトレー、納豆の容器、弁当の容器など）生活に欠かせない身近なプラスチック製品の原料となる樹脂のこと。 ケミカルリサイクル：使い終わった資源を細かくし、化学的に処理して新しい材料や新しい製品に変えること。 市原市は、家庭から排出されたポリスチレン製品を回収し、ケミカルリサイクルして、再度、食品トレーとする「素材から製品、製品から素材」への循環を目指す取組を進めている。
英数字	2050 年カーボンニュートラル	カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味しており、2020 年 10 月、政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。

行	用語	解説
	3R （Reduse,Reuse,Recycle）	リデュース：物を大切に使い、ごみを減らすこと。（必要ないものは買わない、もらわない。買い物にはマイバッグを持参するなど。） リユース：使えるものを繰り返し使うこと。（詰め替え用の製品を選ぶ。いらなくなったものを譲り合うなど。） リサイクル：ごみを資源として再び利用すること。（ごみ正しく分別する。など）
	GSSP（Global boundary Stratotype Section and Point：国際境界模式層断面とポイント）	地球の歴史の中で、特別な時代の始まりを決めるための目印のこと。地球の歴史を区切るための世界共通の基準となっており、例えば恐竜がいた時代といなくなった時代などの境目などが認定されている。
	SDGs	「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、地球をより良くするために、みんなが協力して目指す目標のこと。17 のゴールと 169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを基本理念としている。